

平成24年度 事業報告書

平成24年度は前年度よりの課題でありました、「収支改善」と「日本代表の強化」を柱とした事業目標を掲げて活動を展開いたしました。年度初めの東京セブンズ2012大会(本年度は2回開催)が天候にも恵まれず大幅赤字という最悪のスタートとなり、その後の日本代表戦(A5N、PNC、リポビタミンDチャレンジ)においても収支の改善を図ることができませんでした。

この6月までの結果を踏まえ、8月に予算の組み直しを行いました。9月以降のトップリーグ、大学選手権、日本選手権の主要事業においても収益回復は達成されず、最終事業の2回目の東京セブンズ2013大会においても赤字幅の縮小にとどまり、これらの結果が通年において大幅な赤字に繋がりました。

しかしながら、このような中でも観客数は前年比約13%増(約6万人増・東京セブンズ大会を除く)とやや回復の兆しが見えてきたこと、そして日本代表においては11月の欧州遠征においてルーマニア、グルジアを連破(アウェイでの初勝利)したことは特筆できます。

また、7人制においても6月末にロシアにて開催のワールドカップセブンズ大会に男女そろっての出場権を獲得し、2016年のオリンピック出場に繋がる明るい材料もあります。

本年4月1日より、本協会と時を同じくして公益法人となった2019組織委員会も(独)日本スポーツ振興センター(JSC)から助成を得て、今季より本格的な活動を始めます。組織委員会と一体となった更なる普及、プロモーションの活動が必要です。

平成25年度は引き続き代表の強化に注力するとともに、これを支える財務の改善は急務であります。収入の増加、支出の削減を目指した効率的な協会運営を行うために組織改革を計り、協会一丸となって改善に取り組む所存であります。

平成24年度 実施事業

日本協会のビジョンである「ラグビー競技が誰からも愛され、親しまれ、楽しめる人気の高いスポーツにする」ことの実現を目指して、各関係方面のご支援・ご協力のもと、各大会および各事業を実施した。

国内大会関係

1. 第54回YC&AC JAPAN SEVENS

4月7日(日) YC&AC グランド

優勝:流通経済大学

2. 第13回全国高等学校選抜大会

3月31日(土)～4月7日(土) 熊谷ラグビー場

優勝:東福岡高校(3度目)

3. ジャパンセブンズ高校の部

4月14日(土) 東京 江戸川区陸上競技場

優勝(カップ) 東北選抜

(プレート) 中国選抜

(ボウル) 四国越選抜

4. セブンズフェスティバル2012

5月27日(日) 秩父宮

優勝 サニックス

5. 第8回全国高等学校合同チーム大会

7月31日(火)～8月3日(金) 菅平高原サニアパーク

優勝(U17の部)

(カップ) 近畿ブロック

(プレート) 中国ブロック

(ボウル) 北海道ブロック

優勝(U18の部)
(カップ) 近畿ブロック
(プレート) 関東ブロック
(ボウル) 北信越ブロック

準決勝:平成25年1月2日(水) 国立競技場
早稲田大学 (10-38) 帝京大学
東海大学 (26-28) 筑波大学
決勝:平成25年1月13日(日) 国立競技場
帝京田大学 (39-22) 筑波大学
※帝京大学は4連覇

6. 第3回全国中学校大会

9月15日(土)～17日(月) ケーズスタジアム水戸
優勝(中学の部) 天理中学校
(ラグビースクールの部) かしいヤングラガーズ

7. 第67回 国民体育大会<主催(財)日本体育協会>

10月5日(金)～9日(火) 岐阜県 飛騨市・関市
優勝:成年男子 三重県(2年ぶり4回目)
優勝:少年男子 大阪府(6年ぶり14回目)

8. ジャパンラグビー トップリーグ 2012-2013

リーグ戦 8月31日(金)～平成25年1月6日(月)
<リーグ戦>

・1位 サントリー	勝点 63
・2位 東芝	勝点 50
・3位 パナソニック	勝点 49
・4位 神戸製鋼	勝点 49
・5位 トヨタ自動車	勝点 43
・6位 ヤマハ発動機	勝点 42
・7位 近鉄	勝点 33
・8位 NEC	勝点 32
・9位 NTTコミュニケーションズ	勝点 31
・10位 リコー	勝点 28
・11位 キヤノン	勝点 19
・12位 九州電力	勝点 16
・13位 NTTドコモ	勝点 8
・14位 サニックス	勝点 7

<セミファイナル>

平成25年1月19日(土) 秩父宮
サントリー (38-19) 神戸製鋼
平成25年1月20日(日) 秩父宮
パナソニック (8-20) 東芝

<ファイナル>

平成25年1月27日(日) 秩父宮
サントリー (19-3) 東芝

<入替戦>

平成25年2月3日(日) レベルファイブスタジアム
サニックス(28-34) 豊田自動織機
平成25年2月9日(土) 花園
NTTドコモ(24-21) 三菱重工相模原
※豊田自動織機は昇格、NTTドコモは残留

9. トップリーグ FOR ALL チャリティーマッチ

平成25年3月3日(日) 和歌山 紀三井寺陸上
シニアハート(67-62) ヤングスター

10. 第50回全国大学選手権大会

11月18日(日)～平成25年1月13日(日)

11. 第92回全国高等学校大会

12月27日(木)～平成25年1月7日(月) 花園
準決勝:平成25年1月5日(土)
国学院久我山高校 (0-57) 常翔学園高校
御所実業高校 (48-17) 茗溪学園高校
決勝:平成25年1月7日(月)
常翔学園高校 (17-14) 御所実業高校

12. 第20回全国クラブ大会

決勝:平成25年1月20日(日) 秩父宮
六甲ファイティングブル (49-0) 北海道パーバリアンズ

13. 第63回全国地区対抗大学大会

平成25年1月2日(水)～6日(日) 名古屋市瑞穂公園
決勝 福岡大学 (42-14) 東京学芸大学

14. 第43回全国高等専門学校大会

平成25年1月4日(金)～9日(水) 神戸ユニバー競技場
決勝 神戸市立工業高専 (33-12) 仙台高専名取

15. 第50回日本選手権大会

平成25年2月2日(土)～2月24日(日)
準決勝 平成25年2月16日(土)
神戸製鋼 (31-29) 東芝 花園
サントリー (26-13) パナソニック 秩父宮
決勝 平成25年2月24日(日) 国立
サントリー (36-20) 神戸製鋼
※サントリーは三年連続の日本一

16. 第9回全国小学生タグラグビー選手権大会

平成25年2月24日(日) 秩父宮
<優勝>
(カップ) : 茅ヶ崎市立香川小学校
(プレート) : 山口市立良城小学校
(ボウル) : 水戸市立梅が丘小学校
(シールド) : 鹿児島市立清水小学校
宇都宮市立新田小学校連合

国際大会・海外遠征関係

<高校>

1. サニックス ワールドラグビーユース交流大会

4月28日(土)～5月5日(土) 福岡 グローバル
優勝 : セントケンティガンカレッジ(NZ)
準優勝: ハートプリーカレッジ(イングランド)
3位 : セントジョセフスナッジーカレッジ(豪州)

- 4位 :ダニエルピナールテクニカルハイスクール
(南ア)
5位 :御所実業高校(日本)
6位 :東福岡高校(日本)
7位 :東海大学付属仰星高校(日本)
8位 :常翔学園高校(日本)
9位 :アールマリオットセカンダリースクール(カナダ)
10位 :長崎南山高校(日本)
11位 :佐賀工業高校(日本)
12位 :茗溪学園高校(日本)
13位 :エニセイ-STM(ロシア)
14位 :リセA.R.レサージ(フランス)
15位 :国学院久我山高校(日本)
16位 :ペクシンハイスクール(韓国)

2. 第20回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会

<主催(財)日本体育協会>

- 8月24日・27日 韓国 光州広域市
日本(21-31)U18 韓国
日本(59-7)U18 中国
日本(64-7)U18 光州選抜

3. 高校日本代表・イタリア・フランス遠征

- 平成25年3月9日(土)~26日(火)
第1戦 日本(27-14)U18 イタリア
第2戦 日本(24-12)U18 イタリア
第3戦 日本(27-22)U18 ボール・エスポワール選抜
第4戦 日本(17-46)U18 フランス
※高校日本代表は3勝1敗

<日本女子代表>

(15人制)

1. 香港戦

- 5月19日(土) 秩父宮
日本(61-15) 香港

2. アジア4か国対抗

- 7月4日(水)~8日(日) 中国 昆山
決勝 日本(8-17) カザフスタン
※日本は準優勝

(7人制)

1. 第5回 7人制学生世界選手権

- 7月8日(日)~15日(日) フランス ブリール
3位4位決定戦 日本(14-19)イタリア
※日本は4位

2. アジア・パシフィック女子セブンズ

- 8月28日(火)~9月4日(火) マレーシア ボルネオ
決勝 日本(17-36)オーストラリア
※日本は準優勝

3. セブンズ RWCアジア地区予選

- 10月3日(水)~9日(火) インド プネー
3位決定戦 日本(17-7)カザフスタン
※日本は3位、RWC出場権獲得

4. ワールドシリーズ第2戦 アメリカ大会

- 平成25年1月28日(月)~2月2日(土) ヒューストン
ボウル決勝 日本(7-12)ブラジル
※日本はボウルの部準優勝

5. ラスベガス招待大会

- 平成25年2月3日(日)~12日(火) ラスベガス
3位4位決定戦 日本(5-28)アメリカ
※日本は4位

6. 香港女子セブンズ

- 平成25年3月20日(水)~27日(水) 香港
7位8位決定戦 日本(5-14)中国
※日本は8位

7. ワールドシリーズ第3戦 中国大会

- 平成25年3月27日(水)~4月1日(月) 中国 広州
ボウル決勝 日本(14-10)中国
※日本はボウルの部優勝

<日本男子代表>

(15人制日本代表)

1. アジア5か国対抗2012

- 4月28日(土) アルマティセントラルスタジアム
日本(87-0)カザフスタン
5月5日(土) 福岡レベルファイブスタジアム
日本(106-3)UAE
5月12日(土) 韓国 城南総合運動場
日本(52-8)韓国
5月20日(土) 秩父宮
日本(67-0)香港

2. パシフィックネーションズカップ2012

- 6月5日(火) 瑞穂ラグビー場
日本(19-25)フィジー
6月10日(日) 秩父宮
日本(20-24)トンガ
6月16日(土) 秩父宮
日本(26-29)サモア

3. リポビタンDチャレンジ

- 6月20日(水) 秩父宮
日本(21-40)フレンチバーバリアンズ
6月24日(日) 秩父宮
日本(18-51)フレンチバーバリアンズ

4. 欧州遠征

- 11月10日(土) ルーマニアナショナルスタジアム
日本(34-23)ルーマニア
- 11月17日(土) ミヘイルメスキスタジアム
日本(25-22)グルジア
- 11月21日(水) アギレラススタジアム
JAPAN XV(3-19)バスク選抜
- 11月25日(日) オセアンスタジアム
JAPAN XV(41-65)フレンチバーバリアンズ

(7人制)

1. セブンズワールドシリーズ 東京大会

- 3月30日(土)~4月1日(日) 秩父宮
日本(5-15)イングランド
日本(7-26)フィジー
日本(5-24)フランス
日本(5-21)ポルトガル
日本(17-24)ケニア
※日本は5戦全敗

2. U20 アジアセブンズトーナメント

- 6月23日(土) ~24日(日) マレーシアジョホールバル
プレート決勝 日本(38-0)フィリピン
日本はプレート優勝

3. 7人制世界学生選手権

- 7月14日(土)~15日(日) フランス ブリーブ
カップ5位6位決定戦
日本(24-7)ポルトガル
※日本は5位

4. アジアセブンズシリーズ第1戦 ボルネオ大会

- 8月29日(水)~9月3日(月) マレーシア ボルネオ
決勝 日本(33-22)香港
※日本は優勝

5. アジアセブンズシリーズ第3戦 ムンバイ大会

- 10月13日(土)~14日(日) インド ムンバイ
カップ決勝 日本(7-28)香港
日本は準優勝

6. アジアセブンズシリーズ第4戦 シンガポール大会

- 11月2日(金)~3日(土) シンガポール
カップ決勝 日本(14-12)香港
※日本はカップ優勝、RWC出場権獲得

7. アジアセブンズシリーズ第5戦 香港大会

- 平成25年3月22日(金)~24日(日)
準々決勝 日本(0-21)グルジア

8. セブンズワールドシリーズ 東京大会

- 平成25年3月30日(土)~31日(日)
日本(14-10)カナダ
日本(5-41)ニュージーランド
日本(7-24)フランス
日本(14-22)ウェールズ
日本(19-15)ポルトガル
日本(14-27)カナダ
日本はシールド準優勝

(U20)

1. ジュニアワールドトロフィー-2012 アメリカ大会

- 第1戦 6月18日(月) 日本(39-36)ジンバブエ
第2戦 6月22日(金) 日本(38-35)カナダ
第3戦 6月27日(水) 日本(36-29)グルジア
優勝決定戦 6月30日(日) 日本(33-37)アメリカ

2. ジュニアワールドトロフィー アジア予選

- 7月28日(土) U19 日本(50-12)U19 韓国
8月1日(水) U19 日本(69-0)U19 タイ
8月4日(土) U19 日本(21-17)U19 香港

(ジュニアジャパン)

1. パシフィックラグビーカップ

- 3月12日(火) 日本(26-76)ブリスベンアカデミー
3月18日(月) 日本(14-59)レッズカレッジXV
3月23日(土) 日本(28-45)シドニーアカデミー
3月28日(木) 日本(19-43)ブルーズディベロップメント
4月2日(火) 日本(10-63)ハイランダーズディベロップメント
4月7日(日) 日本(43-73)ハリケーンズディベロップメント

各委員会関係

各委員会・各部門は次の事業を実施した。

1. 管理委員会

(1) 法務部門

1. 個別契約および定型契約等の指導を行った。
2. 各イベントに関する諸契約の指導を行った。
3. その他日常業務に関する相談を行った。
4. 就業規則等協会の内部諸規定の改定につき助言を行った。
5. 公益認定に伴う諸規程その他の文書の見直しを行った。

(2) 財務部門

1. 平成23年度収支の赤字および2012東京セブンスの赤字等の結果をふまえ、策定済みの平成24年度予算について見直し作業を行った。
2. 平成23年度トップリーグの収支状況の分析を行い、課題の抽出を行った。また、2012東京セブンス等、平成24年度前半の事業についても予算と実績の乖離の状況について分析を行った。
3. 平成25年度予算編成については、厳しい財務状況をふまえて、従来の積上げ方式を改め、事務局から各委員会の予算枠を提示する方式を取る事とし、日本代表等、主要な事業についての調整を行った。
4. 過去数年の赤字継続によって正味資産が減少し、財務面での余裕が失われている状況から、キャッシュフローの問題と対策について検討した。

(3) 環境部門

環境部門は、スポーツにおける環境活動への取り組み事例の研究及び検討を行い、『社会貢献活動の1つと位置付け、ラグビーを通じて環境保全に関する啓発・実践活動の推進を図る』ことをテーマとして下記の事業を実施した。

○具体的な実施内容

1. 広報活動(環境啓発PR)

広報委員会との連携によりホームページ、機関紙、大会プログラム、メンバー表等への掲出により関係者、ファンへの環境保全運動を推進した。

- ・「FOR ALL, FOR EARTH」の日本協会環境タイライン活用
 - ・「チャレンジ25キャンペーン」の露出PR
2. 省エネルギー、エコ商品利用、試合観戦時の公共交通機関利用、ゴミ分別回収協力の呼び掛け。
 3. 秩父宮ラグビー場での「エコキャップ運動」を展開し、ペットボトルキャップを回収し、資源の再利用促進することでCO2排出量の削減、キャップの再資源化で得る売却益を以って発展途上国の子どもたちにワクチン、東日本大震災の義援金の寄付としての協力を繋げることが出来た。
 4. 試合開催時に「チャレンジ25」イベントブースを設置し、ファンへの参加協力呼びかけ(朝チャレ！)
 5. トップリーグ参加チームと日本協会による「Try For Green プロジェクト」を展開。トライ数に応じた寄附により、森林保全活動「トップリーグの森」支援を行う(1月28日網走市長に寄附金を寄託)
 6. 省エネルギー、エコ商品利用、試合観戦時の公共交通機関利用の推奨。

(4) 新公益法人部門

公益法人移行に至る主な事項

- ・定款(案)承認 平成24年3月23日 評議員会
- ・公益法人移行認定申請書提出 平成24年9月25日
- ・規定(案)承認 平成24年12月6日 第7回理事会、平成25年2月23日 第9回理事会
- ・公益法人認定 平成25年3月21日

2. 国際委員会

◎重点目標

<2019ワールドカップ日本開催を視野に入れた海外とのネットワークづくり>

1. 海外からの情報収集の強化

2. 海外への情報発信の強化
3. 日本代表強化に寄与する国際試合のマッチメイキング
 - ▶ スコットランド協会、IRB との折衝により 11 月スコットランド戦を実現
 - ▶ アジア協会での折衝により、日本代表に最適なスケジュールを実現
4. スムーズな国際試合運営
 - ▶ 15人制チーム6ヶ国の受け入れと9試合の運営を実施 IRB から運営面について高い評価を獲得
 - ▶ 2回の東京セブンズ、述べ30チームの受け入れとスムーズな運営を実現同上の評価を得る
5. 海外との積極的なコミュニケーション作り
6. 特にアジアでのリーダーシップを取るための各種活動を展開する。
 - ▶ 普及競技力向上委員会との協力のもと、「アジア・スクラム・プロジェクト」を立ち上げ、アジア各国への各種サポートを実施

<一般項目>

1. IRB関連
 - ① IRB 議事録の管理・活用を図った。
 - ② IRB 通達およびリリース翻訳の各部署へ迅速に提供した。
 - ③ IRB および IRB 理事国との諸連絡の強化を図った。
2. アジア理事会関連
 - ① アジアラグビー協会の議事録の管理・活用を図った。
 - ② アジア協会および理事国との諸連絡の徹底を図った。
 - ③ アジア協会諸事業に支援を実施した。
3. 国際試合関連業務の強化
 - ① 各種国際会議への参加、各国との交渉により、計画的に国際試合を計画し実施した。
 - ② 計画的に国際試合および海外チーム受け入れ計画を作成し実施、スムーズな運営を実施。
 - ③ リエゾンオフィサー育成のため、公募による募集、事前研修などを実施。
4. 国際関連一般
 - ① クリアランスおよび海外遠征許可関連業務を徹底

3. 広報委員会

1. 協会広報の基盤整備

広報部門の組織・要員の整備を行い、協会活動に必要な広報機能を実現させた。
2. 協会活動に関するブランディング
 - ① 日本ラグビーの現状調査を実施(2012.1～3月)、ポジションを把握した。
 - ② ①をもとに、検討プロジェクトによりアクションプランを策定、日本協会へ答申した。(2012.12.13)
 - ③ 25年度に新組織により本格的なブランディング活動を開始する。
3. 2019RWC支援

組織委員会と連動した報道支援を行った。
4. インナー(内部)広報(地域協会と都道府県協会間のコミュニケーション)

データベースの構築とあわせ、メール機能による(メーリング)三地域・都道府県協会への情報発信体制の確立に向け準備をしている。
5. 危機管理広報

セブンス・アカデミー、高校代表、女子代表など各階層へ「日本代表の広報対応とリスクマネジメント」の講義を実施、あわせてセブンス・アカデミーでは、新たにメディア・トレーニング講習を実施した。
6. マスコミとのリレーション
 - ① ラグビー担当記者と懇談等を通じて継続的、良好な関係作りを行った。
 - ② 運動部長クラスと懇談等を通じて継続的、良好な関係作りを行った。
 - ③ 協会幹部による報道機関へ、現状と今後への理解促進を目的に挨拶回りを実施した。
 - ④ 理事会後の専務理事会見の場を利用するなどし、定期的にラグビー担当記者との意見交換を開催し、双方の報道環境改善に努めた。
7. 広報戦略の企画・立案
 - ① 中・長期的なメディアプランの企画・立案

継続したステークホルダーとのコミュニケーションが求められる広報業務の円滑な活動のため、協会・広報部とのミ

ーティングを定期的にも実施、課題の抽出とアクションプランの策定を行った。

8. 情報発信

- ① ファンをはじめとする、ステークホルダーへの情報の接点となるホームページで、きめ細かい情報発信を行った。
- ② ホームページでは、情報量、見易さなどを常に意識し、改良することでユーザビリティに心掛けた。
- ③ 機関誌「ラグビーフットボール」を年4回発行した。
- ④ 機関紙では、話題性のある記事掲載に努め、カラーページを増やすなどし、見やすさ、読みやすさに努めている。

9. 日常広報業務

- ① 各部門との連携に心がけ、デイリーなニュース発信、話題の発掘を行い、タイムリーで効果的手法(会見・資料配信など)による情報提供を行った。
- ② 協会・広報部を主とする日常業務に対し、助言・判断を行った。
 - ・取材・会見等の対応
 - ・ニュース・ソースの発掘
 - ・ニュース・リリースの作成・配信
 - ・関係先との調整
 - ・競技時広報の運営・支援・指導(地方)

4. マーケティング委員会

1. マーケティング収入拡大への取り組み

① 日本代表関連

女子日本代表スポンサーシップ企画を開発、セールスを実施。新たに2社がオフィシャルスポンサーに決定。男子・女子日本代表オフィシャルサプライヤーには引き続きカンタベリーオブニュージーランドジャパン決定。さらにオフィシャルコンプレッションウェアパートナーにアディダスジャパンが決定した。

② 既存大会関連(横断幕スポンサーパッケージ)

横断幕スポンサーを協力代理店と一緒にセールス活動を実施。ジェイスポーツが新たにスポンサーに加わったが、トータルでは横ばいであった。

③ 新規大会関連

新たにセブンズワールドシリーズの大会として東京セブンズがスタート。世界最高峰の大会の魅力をアピールし大正製薬、キヤノン他、第1回大会は13社の新規獲得、第2回大会は16社の協賛を得た。(暦の関係で1年に2回実施)

④ その他の大会関連

・リポビタンD チャレンジ2012

大正製薬の冠大会としてフレンチバーバリアンズ戦を6月20日、24日、秩父宮ラグビー 場にて実施。日本代表オフィシャルスポンサー・サプライヤーに加え、3社の大会協賛を得た。

・サントリーカップ全国小学生ラグビー選手権大会

予選参加チーム数も年々増加し、大会の価値向上のもと、サブスポンサー募集の検討にはいった。

・太陽生命カップ2012 第3回全国中学生大会ラグビーフットボール大会

冠大会として2回目の開催となり、水戸市を始めた地元関係者の協力の元、協賛社露出拡大を図ると共に、大会価値拡大と参加の拡大を図った。

⑤ 放送権関連

・ジェイスポーツと引き続き有料衛星放送権を中心に4年間の契約更新を行った。

・NHKと大学選手権、日本選手権を中心に前年以上の内容で契約更新を行った。

・新規に始まった東京セブンズにおいてホストブロード局としてジェイスポーツ、地上波放送を第1回はテレビ東京、第2回はTBSで実現した

・その他大学対抗戦やトップリーグでテレビ神奈川と始めとしたローカル局の放送実現にも注力した。

⑥ 新企画関連

従来のジャパンラグビーヒューマンプログラムをリニューアル、パワーアップをめざし経団連とのバックアップによるラグビーを通じた次世代育成企画「スクラム・ジャパン・プログラム」を企画開発。2019年ワールドカップ成功につながる会費制企画として次年度より本格プロモート予定。

2. ラグビーコンテンツ価値向上への取り組み

・女子日本代表スポンサー決定記者発表を1月に実施、併せて愛称募集キャンペーンを2月より行い、次年度の7人制ワールドカップに向けての盛り上げを図った。(応募 2365 通)

愛称は6月発表予定。なお応募者の中から抽選でオフィシャルスポンサー提供賞品、協会グッズなどをプレゼント予定。

- ・10月よりスタートしたBS朝日による初のラグビーニュース番組「ラグビーウィークリー」企画に全面協力。ラグビー人気復活・拡大に向けての展開を図った。
- ・ラグビー人気の拡大と収益を狙って初の卓上ラグビーカレンダーを製作、協会ホームページや大会会場での販売を行った。
- ・トップリーグホームページにアフィリエイトビジネスとして広告付きラグビーハイライト映像を配信。
- ・手軽にラグビー映像を楽しんでもらえる機会の提供と課金収入獲得に取り組んだ。

3. セールス体制の強化への取り組み

- ・スタッフ1名を増強し、より丁寧なスポンサーフォローを行った。
- ・独占包括契約を締結している電通とマーケティング定例会を実施、情報共有と新たな企画開発・セールスに取り組んだ。
- ・従来以上に協会内事業部門、広報部門、国際部門との連携を密にし、事務局パワーアップによるビジネス拡大・充実に取り組んだ。

5. 事業委員会

1. 日本代表戦、日本選手権、大学選手権等の日本協会主催試合およびトップリーグ事業を実施し以下の結果を残した。
また、セブンズワールドシリーズ TOKYO SEVENS2012及び2013を実施した。
観客数 567,418人(目標比82%前年比121%)
収益 20,204千円(目標比5%、前年比31%)

* 主な事業の観客数増減は以下の通り

	平成 23 年度	平成 24 年度	対前年比
トップリーグ	338,543 人(96 試合、71 開催)	362,067 人(98 試合、73 開催)	+23,524 人 107%
大学選手権	69,947 人(15 試合、9 開催)	82,218 人(30 試合、18 開催)	+12,271 人 118%
日本選手権	30,327 人(9 試合、6 開催)	40,901 人(9 試合、6 開催)	+10,574 人 135%
日本代表戦	28,845 人(3 開催)	41,458 人(7 開催)	+12,613 人 144%
TOKYO SEVENS		37,683 人(2 大会)	
計	467,662 人	564,327 人	+96,665 人 121%

* 主な事業の収益 (千円)

	収益額(実績)	予算差
トップリーグ	60,005	△79,995
大学選手権	15,112	△85,888
日本選手権	17,090	△44,910
日本代表戦	△14,760	△73,260
TOKYO SEVENS	△54,477	△124,477
計	22,970	△408,530

2. 国内大会

予定した日本協会主催の大会およびトップリーグ事業を実施した。

3. 国際大会

- ・A5N2試合、PNC5試合(内日本戦3試合)、リポビタンD チャレンジ2試合、計9試合を実施。
- ・HSBC セブンズワールドシリーズ TOKYOSEVENS2012及び2013の2大会を実施した。

4. メンバーズクラブ

メンバーズ会員およびモバイル会員の拡大を実施

両会員数とも、一万人を越えた

メンバーズ 10,096人(前年度 +1,676人)

モバイル 10,678人(前年度 +1,515人)

1. 国体部門

1. 平成 24 年開催予定の岐阜県ラグビー協会および関市、飛騨市との打合せ。
2. 平成 25 年以後開催が予定されている各県ラグビー協会との打ち合わせ。
東京(平 25)、長崎(平 26)、和歌山(平 27)、岩手(平 28)、愛媛(平 29)
3. 国体部門会の開催
4. 競技会場の視察:
福井県(平成 30 年度開催予定)
期日:平成 24 年 10 月 22 日(月)~23 日(火)
会場:福井県小浜市
5. 第 67 回国体(岐阜県)組み合わせ抽選会
期日:平成 24 年 9 月 9 日(日)13 時~
会場:(財)日本ラグビー協会 ジャパンクラブ
6. 第 67 回国体(岐阜県)への参加
大会期日:平成 24 年 10 月 4 日(木)~9 日(火)
会場:関市グリーン・フィールド中池(少年男子)
飛騨市数河高原ラグビー場(成年男子)
優勝:総合:大阪府
成年男子:三重県
少年男子:大阪府

2. 社会人部門

1. トップリーグを除く社会人ラグビーを発展させるため、三地域と連携し諸施策を実施
今年度のトップリーグへのチャレンジへの挑戦方法は昨年同様トップチャレンジⅡ(1 位)のチームをトップチャレンジⅠに参加し、4 チームのリーグ戦で 1・2 位(自動昇格)と 3・4 位(チャレンジチーム)を決定した。
チャレンジチームはトップリーグ 13・14 位へ挑戦した。
2. 第 53 回 YC&AC JAPAN SEVENS への協力
4 月 8 日(日)開催:横浜 YC&AC グランド
出場チーム 16 チーム(社会人 3、大学 11、クラブ 2)
優勝(チャンピオンシップ) YC&AC
決勝 YC&AC 28-26 筑波大学
(コンソレーション) 拓殖大学
3. 主要試合等に社会人チームへ観客動員の協力依頼する。
4. 第 67 回 国民体育大会(岐阜県開催)への協力・参加
5. その他必要事項を実施する

3. 大学部門

1. 大学ラグビーを発展させるため、大会方式を改革。
3ステージ制による地方大学の参加、2ND ステージプール戦の実施により、試合数の増加を実現した。
2. 三地域協会と協力をして大学選手権の運営を円滑に行った。
3. U20 強化のため各大学へ協力依頼を行った。
4. 大学チームへ観客動員策を実施した。

4. クラブ部門

1. 全国クラブ大会シシステム変更
全国各ブロックから代表チーム出場できる大会とし、参加チームを増やすことを決定した。
2. 「高校生ユース」への取り組み
2013 年 3 月 23 日福岡にてユース普及のカンファレンス開催
3. クラブ大会の開催
①第 20 回全国クラブ大会 会場:熊谷、秩父宮
・1 回戦:平成 24 年 12 月 24 日
・準決勝:平成 25 年 1 月 13 日
・決勝:平成 25 年 1 月 20 日
参加数:6 チームによるトーナメント戦を実施。
優勝チーム(六甲ファイティングブル)が、日本選手権へ出場

- ②学生クラブ東西交流フェスティバルルIN菅平 2012
 - ・8月31日(金)～2日(日) 場所 :菅平サニアパーク
 - ・参加数:22 チーム
- ③第11回東西学生クラブ対抗試合
 - ・12月16日 熊谷ラグビー場
 - ・関東-関西の学生クラブ大会のそれぞれの優勝チーム、慶応BYB(関東)・関西学院大上ヶ原(関西)で行った。
慶応BYB 21対7 関西学院大上ヶ原
- ④第8回クラブユース交流試合(兼:クラブユースU-19)
 - ・2013年3月24日 福岡県コココーラウエスト ジャパングランド
福岡ユース 対 シックス(兵庫)

5. トップリーグ部門

1. 2012年度集客目標40万人⇒結果 362,067人 (目標比91%、前年比107%)

一会場平均	4,960人	
最多入場者数	13,858人 プレーオフトーナメントファイナル@秩父宮 サントリーサンゴリアス vs 東芝ブルーパース	
試合数	リーグ戦	91 試合
	ワイルドカードトーナメント	4試合
	プレーオフトーナメント	3 試合
	計	98試合
開催都道府県数	31 都道府県	
開催会場数	36 会場	

2. テレビ放送/広報活動

- ・TV放送実績(一部ラジオ放送含む)

リーグ戦	71
プレーオフトーナメント	4
ワイルドカードトーナメント	4
チャリティマッチ	1
国内総計	80(前年△3)

- ・海外TV放送実績(ニュージーランド SKY NZ)

リーグ戦	26
プレーオフトーナメント	8
海外総計	34(前年度+18)

- ・記者会見実績

2012.8.24	プレスカンファレンス @TEPIA	52社104名
2013.1.8	プレーオフトーナメント開催記者会見 @ジャパングランド	29社47名
2013.1.28	年間表彰式 @東京国際フォーラム	38社66名

- ・公式ホームページ アクセス数

総アクセス数	3,336,288(前年比121%)
総ユニークアクセス数	1,338,932(前年比123%)
総ニュース更新数	351(前年比105%)

3. FOR ALL活動

- ・FOR ALL Shake Hands
選手と握手を交わすコミュニケーションイベントを実施
- ・東日本大震災復興支援活動
昨年に引き続き、各地で積極的に復興支援活動を実施。リーグ戦を通じて全会場で募金活動を実施。また各チーム、選手が被災地を訪問し、ボランティア活動やラグビークリニックなどを行った。
- ・試合環境の創出
交流試合の場を提供することを目的に「トップリーグFOR ALLミニ・フレンドリーマッチ」を開催。

- ・ FOR ALL 未来のトップリーガーへのプログラム
トップリーグの公式戦で使用したラグビーボールを高校生以下のラグビーチームへ進呈した。
- ・ 子供たちへのラグビー指導
タグラグビー教室の開催や学校訪問のラグビー指導を行った。
- ・ 港区提携プログラム
港区在住・在勤の方を対象に招待イベントを実施。
- ・ TRY FOR GREEN
トライ数に応じてチームと日本協会の双方が募金を実施。北海道網走市の森林保全活動に、1,414,000 円を寄付した。
- ・ ラガールプロジェクト
多くの女性に気軽にご来場頂くため、女性専用観戦席や女子会テーブル席、女性専用ブースなど女性に優しいサービスを展開。また8会場で女性の観戦を無料にする「ラ・ガールデー」を開催した。
- ・ スポーツフォトグラファー体験プログラム
プロスポーツカメラマンを目指す学生に育成の場として、秩父宮ラグビー場全開催試合で撮影環境を提供。
- ・ 企業スポーツのトップモデルとして新人選手53名を対象に新人研修会を開催と、「TOP LEAGUER'S GUIDE」を全選手およびスタッフに配布。

4. キャプテン会議

サントリー竹本選手が新代表に就任。ラグビーの精神を選手として伝えて行くこと、東日本大震災復興支援を風化させないこと、また「TOPLEAGUE PLYER'S WEB SITE」を活性化することをテーマに様々な活動を実施した。

5. 第4回FOR ALLチャリティマッチ トップリーグオールスター

- ・ 2013年3月3日(日)13:00 キックオフ
- ・ 和歌山県紀三井寺公園陸上競技場にて開催
- ・ 紀伊半島大水害及び東日本大震災の復興支援のため行われた。

6. ジュディシヤル・サイティング制度の実施

国際レベルのリーグ運営をめざし、同制度を昨年度同様リーグ戦、ワイルドカードトーナメント、プレイオフトーナメント、日本選手権全試合で実施した。

導入3年目、出場停止案件は3件(前年4件)

6. プロモーション&チケット部門

2012年11月より新設。チケットセールスに特化した部門として活動した。
今年度の成果は、前述の通り。

6. 日本代表事業委員会

1. 15人制代表チーム

(1) 合宿

4/2(月)～7(土) 強化合宿 静岡・掛川
7/15(日)～20(金) 菅平
9/24(月)～25(火) キヤノングランド

(2) HSBCアジア五カ国対抗2012

4/18(水)～5/20(日) 合宿&遠征
第一戦 4/28(土) 対カザフスタン 87-0
場所:アルマティセントラルスタジアム
第二戦 5/5(土) 対UAE 106-3
場所:福岡レベルファイブスタジアム
第三戦 5/12(土) 対韓国 52-8
場所:韓国城南総合運動場
第四戦 5/20(土) 対香港 67-0
場所:秩父宮

(3) IRBパシフィックネーションズカップ2012

5/28(月)～7/2(月) 試合&合宿
第一戦 6/5(火) 対フィジー 19-25
場所:瑞穂公園ラグビー場

第二戦 6/10(日) 対トンガ 20-24
場所:秩父宮

第三戦 6/16(土) 対サモア 26-29
場所:秩父宮

(4) リポビタンDチャレンジ

6/18(月)～7/2(月) 試合&合宿
6/20(水) 対フレンチバーバリアンズ 21-40
場所:秩父宮
6/24(日) 対フレンチバーバリアンズ 18-51
場所:秩父宮

(5) 欧州遠征

10/28(日)～11/27(火)
第一戦 11/10(土) 対ルーマニア 34-23
場所:ルーマニアナショナルスタジアム
第二戦 11/17(土) 対グルジア 25-22
場所:ミヘイルメスキスタジアム
第三戦 11/21(水) 対バスク選抜 3-19
場所:アギレラスタジアム
第四戦 11/25(日)

対フレンチバーバリアンズ 41-65
場所:オセアンスタジア

2. ジュニアジャパン

(1)ワンデーセッション

4/17(火)
5/1(火)、15(火)
9/4(火)、18(火)
10/2(火)、16(火)

(2)強化合宿

7/17(火)~19(木) 菅平
11/10(土)~11(日) ナショナルトレーニングセンター

(3)強化試合

5/15(火) 対トンガ代表 24-45 秩父宮

(4)パシフィックラグビーカップ

直前国内合宿: 3/4(月)~9(土) NTC
海外遠征: 3/9(土)~24(日) (オーストラリア)
3/24(日)~4/9(火) (ニュージーランド)

試合:

3/12(火) 対ブリスベンアカデミー 26-76
3/18(月) 対レッズカレッジXV 14-59
3/23(土) 対シドニーアカデミー 28-45
3/28(木) 対ブルーズディベロップメント 19-43
4/2(火) 対ハイランダーズディベロップメント 10-63
4/7(日) 対ハリケーンズディベロップメント 43-73

3. U20日本代表

(1)強化合宿

第二次強化合宿
4/6(金)~9(月) 流通経済大学
第三次強化合宿
4/20(金)~23(月) 流通経済大学
第四次強化合宿
6/8(金)~14(木) 流通経済大学

(2)ウェールズ遠征 5/9(水)~5/25(木)

5/12(土) 対ウェリッシュ・アカデミカル 42-45
5/15(火) 対U20ウェールズ代表 7-119
5/19(土) 対U20アイリッシュ・エグザイルズ 66-19
5/23(水) 対ブリッジエンド・カレッジオールドボーイズ
29-32

(3)ジュニアワールドトロフィー2012アメリカ大会

大会日程 (6/14~7/3)

Pool A	Pool B
トンガ	日本
チリ	ジョージア
ロシア	カナダ
USA	ジンバブエ

第一戦 6/18(月) 対 ジンバブエ 39-36
第二戦 6/22(金) 対 カナダ 38-35
第三戦 6/27(水) 対 ジョージア 36-29
優勝決定戦 6/30(日) 対 USA 33-37

(4)U20ジュニア ワールドトロフィーアジア予選(香港)

(U19日本代表)

7/28(土)~8/5(日)

7/27(日) 対 U19韓国代表 50-12

8/1(水) 対 U19タイ代表 69-0

8/4(土) 対 U19香港代表 21-17

4. 7人制日本代表

(1)IRBセブンズワールドシリーズ 東京大会

3/31(土)~4/1(日) 秩父宮

Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
フィジー	ニュージーランド	アルゼンチン	南アフリカ
イングランド	豪州	ウェールズ	サモア
フランス	アメリカ	ケニア	スコットランド
日本	香港	ロシア	ポルトガル

《Pool A》

第一戦 対イングランド 5-15

第二戦 対フィジー 7-26

第三戦 対フランス 5-24

日本は3敗で4位。3位, 4位グループのボウル・シールドトーナメントに進出。

《ボウル・シールドトーナメント》

第一戦 対ポルトガル 5-21

シールド準決勝 対ケニア 17-24

最終成績:5戦全敗の16位で終了。

(2)U20アジアセブンズトーナメント

強化合宿:6/16(土)~22 立正大学熊谷キャンパス大会
期間:6/23(土)~24(日) マレーシア・ジョホールバル

Group A	Group B
マレーシア	香港
シンガポール	ウズベキスタン
日本	台湾
フィリピン	タイ
中国	ブルネイ

《Group A予選プール》

第一戦 対中国 0-12

第二戦 対シンガポール 43-14

第三戦 対フィリピン 38-0

第四戦 対マレーシア 12-19

《プレートトーナメント準決勝》

対ウズベキスタン 64-0

《プレートトーナメント決勝》

対シンガポール 48-0

最終成績:プレートトーナメント優勝

(3)7人制ラグビー世界学生選手権

セレクション合宿:6/12(火)~19(火)

立正大学熊谷キャンパス

Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
フランス	イギリス	スペイン	ポルトガル
ポーランド	イタリア	ベルギー	ハンガリー
カナダ	メキシコ	ケニア	チリ
ナミビア	南アフリカ	日本	ルーマニア
レバノン	マレーシア	-	-

事前強化合宿:7/5(木)~13(金) 味の素NTC
 大会期間:7/14(土)~15(日)フランス・ブリーブスタジアム
 《Pool C》
 第一戦 対スペイン 24-12
 第二戦 対ベルギー 12-19
 第三戦 対ケニア 17-17
 日本は1勝1敗1分で2位となり、カップトーナメントに進出。

《カップトーナメント準々決勝》
 対フランス 14-19
 《カップ敗者戦》
 対ルーマニア 20-7
 《カップ5、6位決定戦》
 対ポルトガル 24-7
 最終成績:5位。

(4)HSBCアジアセブンズシリーズ第1戦ボルネオセブンズ
 事前合宿:8/20(月)~28(火)
 遠征期間:8/29(水)~9/3(月)
 場所:マレーシア・ボルネオ

	Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
1	フィリピン	香港	日本	中国
2	韓国	マレーシア	中華台北	カザフスタン
3	シンガポール	UAE	スリランカ	タイ

《Pool C》9/1(土)
 第一戦 対スリランカ 34-7
 第二戦 対中華台北 32-0
 《決勝トーナメント》9/2(日)
 準々決勝 対フィリピン 53-5
 準決勝 対中国 38-5
 決勝 対香港 33-22
 最終成績:優勝

(5)HSBCアジアセブンズシリーズ第2戦 上海大会
 9/22(土)~23(日) 政治的情勢により、不参加。

(6)HSBCアジアセブンズシリーズ第3戦ムンバイ大会
 直前合宿:9/30(日) - 10/10(水)
 遠征期間:10/11(木)~15(月)
 大会期間:10/13(土)~14(日)

Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
日本	中国	中華台北	香港
フィリピン	スリランカ	韓国	タイ
シンガポール	マレーシア	カザフスタン	UAE
アフガニスタン	イラン	パキスタン	インド

場所:インド・ムンバイ
 《Pool A》
 第一戦 対アフガニスタン 58-0
 第二戦 対シンガポール 31-0
 第三戦 対フィリピン 22-12
 《決勝トーナメント》
 カップ準々決勝:対韓国 53-0
 カップ準決勝:対タイ 43-0
 カップ決勝:対香港 7-28
 最終成績:カップ準優勝

(7)HSBCアジアセブンズシリーズ第4戦兼RWC7'S
 2013アジア地区予選シンガポール大会
 事前合宿:10/22(月)~29(月) 味の素NTC
 遠征期間:10/30(土)~4(日)
 大会期間:11/2(金)~3(土)
 場所:シンガポール

	Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
1	香港	韓国	中国	日本
2	フィリピン	タイ	マレーシア	スリランカ
3	グアム	シンガポール	カザフスタン	インドネシア

《Pool D》
 第一戦 対インドネシア 57-0
 第二戦 対スリランカ 35-0
 《決勝トーナメント》
 カップ準々決勝:対シンガポール 47-0
 カップ準決勝:対フィリピン 17-7
 カップ決勝:対香港 14-12
 《最終成績》

カップ優勝、ワールドカップセブンズ
 2013出場権獲得。アジア予選1位通過。

(8)HSBCセブンズワールドシリーズ香港大会、HSBセブンズ
 ワールドシリーズ昇格予選大会
 事前合宿:2/25(月) ~3/18(月)
 遠征期間:3/19~25(月)
 大会期間:3/22(金)~24(日)
 場所:香港スタジアム

コアチーム昇格に向けた予選大会	
Pool E	Pool F
トンガ	日本
ウルグアイ	グルジア
チュニジア	ブラジル
中華台北	ジャマイカ

《Pool F》
 第一戦 対ブラジル 17-10
 第二戦 対ジャマイカ 43-0
 第三戦 対グルジア 26-7
 プールF1位通過で決勝トーナメント進出。
 《決勝トーナメント》
 準々決勝 対グルジア 0-21

《最終成績》
 グルジアに敗れコアチーム昇格予選大会に出場できず。

(9)IRB セブンズワールドシリーズ 東京大会
 合宿期間:3/25~31(日) 秩父宮

Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
フィジー	ウェールズ	ニュージーランド	オーストラリア
ポルトガル	ケニア	カナダ	サモア
南アフリカ	アメリカ	フランス	イングランド
スペイン	スコットランド	日本	アルゼンチン

《Pool C》
 第一戦 対カナダ 14-10

第二戦 対ニュージーランド 5-41

第三戦 対フランス 7-24

日本は4位でボウル、シールドトーナメントに進出
《ボウル・シールドトーナメント》

ボウル準々決勝 対ウェールズ 14-22

シールド準決勝 対ポルトガル 19-15

シールド決勝 対カナダ 14-27

最終成績:シールド準優勝、14位に終わる。

(10)男子7人制トライアウト開催

1. 関東地区
6/3(日) 東芝・府中グラウンド=34名参加
2. 関西地区
6/10(日) 花園ラグビー場=21名参加
3. 九州地区
6/30(土) 九州電力香椎グラウンド=23名参加

5. 女子代表

(1)15人制代表

①強化合宿

- 1) 期間:4/27(金)~29(日)
場所:味の素ナショナルトレーニングセンター
- 2) 期間:1/10(木)~11(金)
場所:味の素ナショナルトレーニングセンター

②国際試合・大会

- 1) 5/19(土) 香港代表戦(秩父宮ラグビー場)
直前合宿:5/15(火)~18(金)
場所:味の素ナショナルトレーニングセンター
成績:対香港 61-15
- 2) アジア4か国対抗(中国・昆山)
直前合宿:6/30(日)~7/3(火)
場所:味の素ナショナルトレーニングセンター
遠征期間:7/4(水)~8(日)
成績:準優勝
第一戦 対香港 41-17
決勝 対カザフスタン 8-17

(2)7人制代表

①強化合宿

- 1) 期間:4/13(金)~15(日)
場所:立正大学
- 2) 期間:4/20(金)~22(日)
場所:立正大学
- 3) 期間:4/29(日)~5/1(火)
場所:立正大学
- 4) 期間:5/13(日)~15(火)
場所:立正大学
- 5) 期間:5/21(月)~24(木)
場所:Bumb東京スポーツ文化会館
- 6) 期間:6/8(金)~10(日)
場所:立正大学
- 7) 期間:6/17(日)~20(水)
場所:味の素ナショナルトレーニングセンター
- 8) 期間:8/4(土)~8(水)
場所:味の素ナショナルトレーニングセンター

9) 期間:11/3(土)~4(日)

場所:味の素ナショナルトレーニングセンター

10) 期間:11/23(金)~25(日)

場所:立正大学

11) 期間:12/8(土)~9(日)

場所:立正大学

12) 期間:12/15(土)~20(木)

場所:味の素ナショナルトレーニングセンター

13) 期間:1/10(木)~15(火)

場所:味の素ナショナルトレーニングセンター
国際武道大学

14) 期間:2/23(土)~28(木)

場所:沖縄県総合運動公園陸上競技場

②強化遠征

1) 期間:9/9(日)~17(月)

場所:オーストラリア・ゴールドコースト
Surfing Australia High Performance Center

③平日練習会

- ・4/11(水)、4/18(水)、5/8(火)、7/18(水)
東芝府中ラグビーグラウンド
- ・11/5(月)、11/7(水)、11/9(金)、11/10(土)、
11/12(月)、11/14(水)、11/16(金)、11/17(土)、
11/19(月)、11/21(水)、11/28(水)、11/30(金)、
12/3(月)、12/5(水)、12/7(金)、12/12(水)、
12/14(金)、1/7(月)、1/16(水)、2/15(金)、2/18(月)、
3/4(月)、3/6(水)、3/8(金)、3/11(月)
味の素ナショナルトレーニングセンター

④国際大会

- 1) 第5回7人制ラグビー学生世界選手権
(フランス・ブリーブ)
直前合宿:7/6(金)~7(土)
立正大学/早稲田大学下井草G
遠征期間:7/8(日)~15(日)
成績:4位

Pool E	Pool F
フランス	スペイン
イタリア	イギリス
カナダ	ルーマニア
ベルギー	日本

第一戦 対スペイン 10-5

第二戦 対イギリス 5-31

第三戦 対ルーマニア 29-5

準々決勝 対カナダ 22-5

準決勝 対フランス 5-21

3位/4位決定戦 対イタリア 14-19

2) アジア・パシフィック女子セブンズ

(マレーシア・ボルネオ)

直前合宿:8/18(土)~27(月)

味の素ナショナルトレーニングセンター

遠征期間 :8/28(火)~9/4(火)

成績:準優勝

Pool A	Pool B
中国	カザフスタン
タイ	日本
香港	中華台北
韓国	シンガポール
パプアニューギニア	オーストラリア

第一戦 対オーストラリア 14-10

第二戦 対カザフスタン 21-5

第三戦 対シンガポール 36-0

第四戦 対中華台北 36-7

準決勝 対香港 38-0

決勝 対オーストラリア 17-36

3) RWC7's2013アジア地区予選(インド・ブネー)

直前合宿:9/20(木)~10/2(火)

味の素ナショナルトレーニングセンター、国際武道大学

遠征期間 :10/3(水)~10/9(火)

成績:3位(RWC7's2013出場権獲得)

Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
日本	フィジー	中国	カザフスタン
香港	中華台北	タイ	シンガポール
インド	韓国	マレーシア	イラン
ウズベキスタン	スリランカ	フィリピン	UEA

第一戦 対インド 49-0

第二戦 対香港 15-9

準決勝 対フィジー 7-31

3位決定戦 対カザフスタン 17-7

4) IRBワールドシリーズ第2戦 アメリカ大会

(アメリカ・ヒューストン)

直前合宿

1/21(月)~24(木)

味の素ナショナルトレーニングセンター、立正大学

1/25(金)~27(日) 習志野自衛隊

遠征期間:1/28(月)~2/2(土)

成績:ボールの部準優勝

Pool A	Pool B	Pool C
ニュージーランド	南アフリカ	オーストラリア
イングランド	カナダ	ロシア
オランダ	アメリカ	ブラジル
トリニダード・トバコ	アルゼンチン	日本

第一戦 対オーストラリア 12-31

第二戦 対ロシア 5-24

第三戦 対ブラジル 17-12

ボール準決勝 対トリニダード・トバコ 34-10

ボール決勝 対ブラジル7-12

5) ラスベガス招待大会

遠征期間 :2/3(日)~12(火)

成績:4位

Pool A	Pool B	Pool C
アメリカ1	カナダ2	日本代表
カナダ1	トリニダード・トバコ	アメリカ2
アルゼンチン	Beavers International Elite	Combinded Services Select
Laie Parkside	Emperor's Atlantis	Dog River Howlers

第一戦 対Combinded Services Select 29-0

第二戦 対Dog River Howlers 19-7

第三戦 対アメリカ2 14-33

準々決勝 対アメリカ1 10-7

準決勝 対カナダ1 7-14

3/4位決定戦 対アメリカ25-28

6) 香港女子セブンズ(香港)

直前合宿:3/14(木)~20(水) 立正大学

遠征期間:3/20(水)~3/27(水)

成績:ボールの部準優勝

Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
オーストラリア	南アフリカ	カナダ	オランダ
カザフスタン	フランス	日本	中国
国際選抜	アイルランド	香港	シンガポール

第一戦 対香港 24-5

第二戦 対カナダ 0-54

プレート準決勝 対南アフリカ 5-26

7/8位決定戦 対中国 5-14

7) IRBワールドシリーズ第3戦 中国大会(中国・広州)

遠征期間:3/27(水)~4/1(月)

成績:ボールの部優勝

Pool A	Pool B	Pool C
ニュージーランド	オーストラリア	イングランド
オランダ	カナダ	アメリカ
ブラジル	日本	中国
チュニジア	アイルランド	フィジー

第一戦 対オーストラリア 5-26

第二戦 対カナダ 5-52

第三戦 対アイルランド 0-33

ボール準決勝 対フィジー 12-5

ボール決勝 対中国 14-10

6. ユースセブンズ

1)Australian Youth Olympic Festival

日時:2013/1/16(水)~1/20(日)

出国:1/14 帰国:1/21

試合日 1/18(金)~19(土)

場所:シドニー/オーストラリア

メンバー:男女各12名

(それぞれアカデミーメンバーにて構成)

試合結果

1日目・Pool戦

【男子】

第一戦 対中国 34-7

第二戦 対南アフリカ 0-58
第三戦 対オーストラリア0-53
第四戦 対トンガ 0-28

【女子】

第一戦 対南アフリカ 32-0
第二戦 対中国 14-28
第三戦 対トンガ 29-14
第四戦 対オーストラリア 19-5

2日目・トーナメント戦

【男子】

第一戦 対トンガ 5-7
第二戦 対南アフリカ 0-68
第三戦 対トンガ 0-26

【女子】

第一戦 対南アフリカ 17-14
第二戦 対中国 5-24
第三戦 対南アフリカ 27-0

最終結果

男子:4位/女子:3位(銅メダル獲得)

7. 普及育成・競技力向上委員会

1. U16・17ブロック合宿、U17 合同大会/ユースコーチ研修会事業

・コーチ部門との連携による「U16・17ブロック合宿からジャパンにつづく一貫システムづくり」と、日本スタイル策定と指導者への落とし込みを行った。

<実施スケジュール>

U16・17ブロック合宿

北海道 U16 平成24年11月3日(土)～4日(日) 北海道・江別市 65名
U17 平成24年6月9日(土)～11日(月) 北海道・帯広の森ラグビー場 55名
東北 U16 平成24年6月29日(金)～7月1日(日) 岩手県・八幡平上寄木グラウンド 41名
U17 平成24年6月29日(金)～7月1日(日) 岩手県・八幡平上寄木グラウンド 62名
関東 U16 平成25年3月15日(金)～17日(日) 千葉県・流通経済大学龍ヶ崎キャンパス 約70名
U17 平成24年6月15日(金)～17日(日) 千葉県・流通経済大学龍ヶ崎キャンパス 71名
東海 U16 平成24年12月14日(金)～16日(日) 岐阜県・長良川球技メドウ 70名
U17 平成24年6月29日(金)～7月1日(日) 三重県・鈴鹿スポーツガーデン 65名
北信越 U16 平成24年6月22日(金)～6月24日(日) 長野県・菅平高原サニアパーク 85名
U17 平成24年6月22日(金)～6月24日(日) 長野県・菅平高原サニアパーク 44名

近畿 U16 平成24年6月8日(金)～10日(日) 奈良県・天理大学白川グラウンド 57名
U17 平成24年6月8日(金)～10日(日) 奈良県・天理大学白川グラウンド 56名
中国 U16 平成24年3月22日(金)～24日(日) 山口県・俵山多目的交流広場 約50名
U17 平成24年6月15日(金)～17日(日) 山口県・俵山多目的交流広場 41名
四国 U16 平成25年3月9日(土)～10日(日) 愛媛県・西条市東予運動公園球技場 約50名
U17 平成24年3月12日(土)～13日(日) 愛媛県・久万高原笛ヶ滝球技場 89名
九州 U16 平成24年7月7日(土)～9日(月) 大分県・湯布院スポーツセンター 48名
U17 平成24年7月7日(土)～9日(月) 大分県・湯布院スポーツセンター 52名

U17 合同大会指導者研修会

日時:平成24年7月29日(日)～31日(火)
場所:菅平高原
参加者:9ブロックチーム(選手22名、コーチ3名)合計225名
ユースコーチおよびスタッフ30名

ユースコーチ研修会

日程:平成24年4月23日～25日
場所:流通経済大学龍ヶ崎
参加者:ユースコーチおよびスタッフ30名

リソースコーチ研修会

日程:平成24年4月14日～15日
場所:日本協会リソース部屋
参加者:リソースコーチおよびスタッフ20名

リソースコーチ研究会

日程:平成24年9月10日、10月15日、11月12日、12月10日、1月16日、平成25年1月21日、2月6日、2月18日、3月4日
場所:日本協会リソース部屋

参加者：リソースコーチ 5～10 名程度

指導者講習会等

平成 24 年 3 月 17 日～18 日 四国セブンズ 担当：後藤翔太 RC
平成 24 年 4 月 21 日 日本代表レガシープログラム 担当：松尾勝博 RC
平成 24 年 5 月 20 日 徳島育ち「夢未来育成委員会」一貫指導スタッフ会議 担当：今田圭太 RC
平成 24 年 6 月 2 日 セブンズラグビーの現状と魅力 担当：松尾勝博 RC
平成 24 年 6 月 3 日 男子 7 人制 3 地域トライアウト 担当：松尾勝博 RC、淵上宗志 RC
平成 24 年 6 月 23 日～24 日 東北高専ラグビーフットボールの競技力向上 担当：後藤翔太 RC
平成 24 年 6 月 30 日～7 月 1 日 宮崎チャレンジマッチ 担当：松尾勝博 RC
平成 24 年 9 月 8 日 ボールフェスタ in IWATE 担当：松尾勝博 RC
平成 24 年 10 月 20 日 和歌山県ゴールデンキッズトライアル 担当：松尾勝博 RC
平成 24 年 11 月 10 日 2012 北のスポーツ王国『スポーツチャレンジ教室』 担当：白馬悠 RC
平成 24 年 1 月 26 日 ボールフェスタ in YOKOHAMA 担当：四宮洋平 RC
平成 24 年 2 月 3 日 ラグビースクールプロモーション講習会 担当：後藤翔太 RC
平成 24 年 2 月 9 日 ブラッシュアップ研修会 担当：今田圭太 RC
平成 24 年 3 月 8 日～10 日 西日本セレクション 担当：後藤翔太 RC
平成 24 年 3 月 10 日 徳島県 7 人制ラグビーフットボール強化事業 担当：向山昌利 RC
平成 24 年 3 月 16 日～17 日 四国高校セブンズ 担当：二ノ丸幸之 RC
平成 24 年 3 月 23 日～25 日 北信越指導者研修会 担当：松尾勝博 RC

2. セブンズアカデミー活動、7 人制男女ユース代表

セブンズアカデミー事業

【男子】：4 回

第 9 回男子セブンズアカデミー

日時：平成 24 年 6 月 29 日（金）～7 月 1 日（日） 場所：エアロビックスセンター

第 10 回男子セブンズアカデミー

日時：平成 24 年 8 月 30 日（木）～9 月 1 日（土） 場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

第 11 回男子セブンズアカデミー

日時：平成 24 年 11 月 30 日（金）～12 月 2 日（日） 場所：さわやかスポーツセンター

第 12 回男子セブンズアカデミー

日時：平成 25 年 2 月 22 日（金）～2 月 24 日（日） 場所：J グリーン堺

【女子】：6 回

第 14 回女子セブンズアカデミー

日時：平成 24 年 6 月 1 日（金）～3 日（日） 場所：流通経済大学

第 15 回女子セブンズアカデミー

日時：平成 24 年 8 月 13 日（月）～15 日（水） 場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

第 16 回女子セブンズアカデミー

日時：平成 24 年 10 月 19 日（金）～21 日（日） 場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

第 17 回女子セブンズアカデミー

日時：平成 25 年 2 月 14 日（金）～16 日（日） 場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

第 18 回女子セブンズアカデミー

日時：平成 25 年 3 月 23 日（土）～29 日（金） 場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

・女子セブンズアカデミーカナダ遠征

期日：平成 24 年 8 月 16 日（木）～8 月 22 日（水） 遠征先：カナダ・バンクーバー

試合結果

第 1 戦：Fraser Vally U17 & U18 *夏の地域大会優勝チーム

会場：Abbotsford Exhibition Park

第 1 試合 22-12

第 2 試合 29-5

第 3 試合 36-0

第 2 戦：vs Vancouver Island U18

会場：Cowichan Rugby Club

第 1 試合 46-0

第 2 試合 50-0

第1回男女セブンズアカデミー

日時：平成25年1月12日（土）～1月14日（月）

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

【Australian Youth Olympic Festival】

日時：平成25年1月16日（水）～1月20日（日） 出国1月14日／帰国1月21日

試合日 1月18日（金）、19日（土）

場所：シドニー／オーストラリア

メンバー：男女各12名（それぞれアカデミーメンバーにて構成）

試合結果

1日目・Pool戦

【男子】

10:14 日本（34-7）中国、
12:04 南アフリカ（58-0）日本
16:06 日本（0-53）オーストラリア
17:56 日本（0-28）トンガ

【女子】

9:30 南アフリカ（0-32）日本
11:42 中国（28-14）日本
13:32 トンガ（14-29）日本
15:44 オーストラリア（5-19）日本

2日目・トーナメント戦

【男子】

14:36（男子） トンガ（7-5）日本5
16:04（男子） 南アフリカ（68-0）日本
17:32（男子） トンガ（26-0）日本
最終結果 男子：4位 / 女子：3位（銅メダル獲得）

【女子】

13:52（女子） 日本（17-14）南アフリカ
15:42（女子） 中国（24-5）日本
17:10（女子） 南アフリカ（0-27）日本

・パートナークラブ事業

7人制ラグビーの普及育成を目的として設立されたパートナークラブ制度について、以下の事業を実施した。
＜アカデミー選手発掘事業＞

1. 各パートナークラブにてトライアウトの実施
2. JRFU セブンズアカデミーコーチ派遣によるラグビークリニック、およびアカデミーセレクション

北海道ブロック	北海道：北海道バーバリアンズ
東北ブロック	岩手県：釜石シーウェイブスR F C 秋田県：秋田ノーザンプレッツラグビーフットボールクラブ
関東ブロック	茨城県：RKU 龍ヶ崎ドラゴンズ 神奈川県：タマリバクラブ 東京都：Rugirl-7
近畿ブロック	兵庫県：SCIX ラグビークラブ 兵庫県：六甲クラブ 奈良県：天理ラグビークラブ
中国ブロック	岡山県：岡山ラグビーフットボールクラブ
九州ブロック	宮崎県：川南ラグビーフットボールクラブ 福岡県：福岡ラグビーフットボールクラブ 熊本県：熊本サンデーズ

＜7人制ラグビープレーヤー育成事業＞

1. 大会
 - ・第1回北海道バーバリアンズセブンズトーナメント
日程：2012年7月21日、22日（定山溪）
 - ・SANIX Girls Sevens Rugby Camp 2013
日程：2013年3月9日 サニックス セブンズクリニック

2013年3月10日 交流大会

2. 拠点トレーニング

各パートナークラブ拠点にてセブンズラグビートレーニング（週1回～月1回程度）

・タレント発掘事業

①地域タレント発掘育成事業との連携

②各カテゴリーにおけるセレクションポリシーの共有

コーチ部門

1. コーチ部門

・コーチデータベース登録者数 : 13,537名 (有効期限切れ含む)

平成24年度コーチ資格新規取得者:

新スタートコーチ781名(2013年2月19日現在)

育成コーチ69名

強化コーチ42名

・資格者養成講習会・研修会開催状況

Super Week (IRB講習会複数開催)

IRB Master Trainer コース 7/24-7/30 参加者1名

IRB Trainer コース 7/25-7/30 参加者2名

IRB Educator コース 7/26-7/31 参加者13名

*Educator コースはコーチとマッチオフィシャルの両方を開催

IRB Level13 コーチ養成講習会 7月26日～7月29日

トップチームコーチ講習会: 11月19日～22日

強化コーチ養成講習会 7月28日～8月2日

育成コーチ養成講習会

(北海道) 5月26日、27日、6月2日、3日

(徳島) 6月30日、7月1日、9月7日、8日

(静岡) 7月14日、15日、16日

(東京) 1月19日、20日、26日、27日

新スタートコーチ資格認定養成講習会: 31回 (2013年2月19日現在)

ブラッシュアップ研修会: 29回(2013年2月19日現在)

科学/国際技術/情報・AIR部門

1. ラグビーゲーム・スキルに関する日本独自のラグビー科学情報活動を遂行した。

2. ラグビー科学研究 vol. 24-1 を発刊 (平成25年3月)

3. オリンピック競技技を射程に入れ、JOC、体協、JISS との連携強化を図り、7人制強化および普及に必要な支援活動を行った。

小学生部門

1. 三地域ミニ・ジャンボリー大会 助成

1) 関西協会: 『第6回 関西ミニ・ラグビージャンボリー交流大会』 6月23日(土)・24日(日)

日程: 6月23日(土)・24日(日)

会場: 兵庫県・兵庫県立淡路佐野運動公園 ボールパークあわじ

2) 関東協会: 『菅平ミニ・ラグビージャンボリー交流大会』

日程: 7月15日(日)・16日(月・祝)

会場: 長野県・菅平サニアパーク

3) 九州協会: 『ラグビーマガジン杯 第38回九州少年ラグビー交歓会』

日程: 8月24日(金)-26日(日)

会場: 熊本県・国立阿蘇青少年交流の家

2. ミニラグビープロモーション講習会

1) ラグビースクールプロモーション講習会 (関西協会)

日時: 平成25年2月2日(土) 13:00～3日(日) 15:00

場所：天理教第38母屋（講義）、親里ラグビー場（実技）

2) ラグビースクールプロモーション講習会(九州協会)

日程：平成25年3月23日（土）～3月24日（日）《1泊2日》で予定

会場：九州協会、コカ・コーラウエスト グランド

3. ミニ・ラグビーフレンドリーマッチ

日程：平成25年1月27日（日）

会場：東京 秩父宮ラグビー場

中学生部門

1. 三地域ジャンボリー大会助成

1) 第14回東日本ジュニアラグビー菅平ジャンボリー

期日：平成24年7月28日～29日

会場：長野県上田市菅平高原・サニアパーク他

参加選手：2100名

2) 第13回関西中学生ラグビーフットボールジャンボリー

期日：平成24年7月27日～29日

会場：岐阜県飛騨市数河高原グランド他

参加選手：630名

3) 第14回九州ジュニアラグビー福岡・長崎島原ジャンボリー大会

期日・会場：平成24年1月（グローバルアリーナ）

平成24年2月（島原復興アリーナ）

2. 三地域ブロック大会助成

平成24年7月 第15回関西中学生ラグビーフットボールジャンボリー大会（数河高原）

平成24年10月 第13回ジュニアラグビー九州ブロック大会（熊本県民総合運動公園ラグビー場）

平成25年3月 第10回東日本U15中学生ラグビーフットボール選抜大会

（水戸市サッカー・ラグビー場/ケーズデンキスタジアム）

平成24年8月 第16回中四国ジュニアラグビーフットボール大会（岡山県美作ラグビー・サッカー場）

平成24年11月 第14回近畿スクールジュニア交流大会兼第18回全国ジュニア大会近畿予選大会

平成25年3月 平成24年度関西スクールジュニア新人交流大会（兵庫県淡路佐野運動公園グランド）

平成25年2月 第15回九州ジュニアラグビー福岡ジャンボリー（グローバルアリーナ）

平成25年2月 第14回九州ジュニアラグビー長崎島原ジャンボリー（島原復興アリーナ）

3. 「太陽生命カップ2012 第3回全国中学生ラグビーフットボール大会」の開催

期日：平成24年9月15日-17日

会場：ケーズデンキスタジアム・ツインフィールド（水戸市）

■第1ブロック決勝(学校課外活動の中学校チーム)

天理中学校 47-5 大阪市立文の里中学校

〈順位〉

1位 天理中学校

2位 大阪市立文の里中学校

3位 京都市立西陵中学校

4位 玉名市立玉名中学校

5位 日向市立富島中学校

6位 茗溪学園中学校

7位 世田谷区立千歳中学校

8位 男鹿市立男鹿南中学校

〈特別賞〉

最多トライチーム賞：天理中学校

フェアプレーチーム賞：大阪市立文の里中学校

■第2ブロック決勝(社会体育のラグビースクール)

かしいヤングラガーズ 50-19 三田ラグビークラブジュニア

〈順位〉

1位 かしいヤングラガーズ

- 2位 三田ラグビークラブジュニア
- 3位 堺ラグビースクール
- 4位 熊本ラグビースクール
- 5位 伊丹ラグビースクール
- 6位 世田谷区ラグビースクール
- 7位 横浜ラグビースクール
- 8位 前橋ラグビースクール

(特別賞)

最多トライチーム賞： かしいヤングラガーズ

フェアプレーチーム賞： 熊本ラグビースクール

■女子エキシビジョンマッチ

U15 九州女子選抜 7-7 U15 関東女子選抜 ※大会規定により両チーム優勝

4. 「第18回全国ジュニアラグビーフットボール大会」の開催

期日：平成24年12月29日(土)・31日(月)

会場：近鉄花園ラグビー場、多目的球技広場

■第1ブロック

優勝 大阪府スクール選抜

準優勝 福岡県選抜

第3位 長崎県選抜

■第2ブロック

優勝 茨城県中学校選抜

準優勝 愛知県中学校選抜

第3位 神奈川県スクール選抜

タグ部門

1. 学校教育現場への普及に関わる活動について

① タグラグビーエデュケーターの養成

エデュケーター養成講習が関東ブロックと九州ブロックで実施され、47都道府県中43道府県でエデュケーター(候補者含む)を養成することが出来た。

② タグラグビーティーチャーの養成

ティーチャー養成研修会

16都道府県(北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、茨城県、福井県、京都府、奈良県、広島県、島根県、福岡県、佐賀県、大分県、鹿児島県、沖縄県)でのべ23回にわたり、これに参加してタグラグビーティーチャーとして認定された者は575名に上る。

平成24年度ティーチャー養成研修会受講者数

北海道(3回開催)62名、埼玉県8名、千葉県30名、東京都(5回開催)67名、神奈川県(2回開催)32名、茨城県36名、福井県18名、京都府27名、奈良県45名、広島県23名、島根県73名、福岡県(2回開催)55名、佐賀県7名、大分県15名、鹿児島県19名、沖縄県58名の計575名、およそ500校の小学校から参加。

2. 大会事業に関わる活動について

サントリーカップ 第9回全国小学生タグラグビー選手権大会

期間：予選大会＝平成24年10月8日～平成25年2月2日

決勝大会＝平成25年2月23日・24日

会場：予選大会＝全国47都道府県各会場

決勝大会＝秩父宮ラグビー場/国立競技場

全47都道府県で開催されてきた都道府県予選・ブロック大会には、1,067チーム・延べ10,518名が参加

■決勝大会結果

<各部優勝チーム>

カップ優勝：茅ヶ崎市立香川小学校 茅ヶ崎ブルーフェニックス

プレート優勝：山口市立良城小学校 ホワイトダイヤモンド

ボウル優勝：水戸市立梅が丘小学校 梅が丘ブルーウェイブス

シールド優勝：鹿児島市立清水小学校 清水HANJIRO / 宇都宮市立新田小学校連合 新田ウォリアーズ

■招待チーム

①【関東】宮城県代表 青葉西タイタンズ

②【関西】岡山県代表 高島グリーンボンバーズ

8. 審判委員会

- ・2019年ラグビーワールドカップの日本開催でレフリーを輩出するという大きな目標の過程でNZでのITMカップを日本人はもとよりティア2カテゴリーから初めて担当させられることが出来た。
- ・IRBセブンズサーキットに2年連続でスコッドメンバーにノミネートされた。

1. レフェリー部門

1. トップレフェリー(A・A1・A2・女子)研修活動>

① パネルレフェリー研修会 東京・秩父宮

・5月12・13日 東京・ナショナルトレーニングセンター

レフェリー23名・スタッフ26名

(2011年課題点の整理、2012年シーズン指針確認)

・7月15・16日 東京・ナショナルトレーニングセンター

レフェリー25名・スタッフ22名

(日本代表戦略・戦術(エディHC)、スクラムセッション、フィットネステスト、試験的实施ルール確認・まとめ、メンタルトレーニング、アシスタントレフェリー研修、個人面談)

・7月27～29日 長野・菅平高原

女子レフェリー12名・スタッフ7名

(関東ジャンボリー大会のレフリング実技、レフリングの基礎、試験的实施ルールの説明、ルールテスト、英会話、ゲームレビュー)

・8月24～26日 長野・菅平高原

三地域若手レフェリー36名・スタッフ6名

(2012年シーズン指針説明、試験的实施ルール確認、レフリング実技、フィットネステスト、スクラム講習、シーズンプランニング、メンタルトレーニング、コミュニケーションスキル、アシスタントレフェリー研修、IRBレベル3講習会、トップレフェリー4名実技・講義)

・11月10～11日 東京・ナショナルトレーニングセンター

レフェリー24名・スタッフ20名

(JTL前半節レビュー・後半節に向けての討議、国際競技力の現状(佐々木氏)、リソースコーチ活動状況(中竹氏)、ペアーレフェリー活動状況、個人面談)

② 春季 TL オープン戦・チーム練習への派遣

関東・関西・九州 64試合派遣

③ 日本代表関連合宿への参加 48回

<日本代表・U-20代表・高校代表セブンズ(男女)・女子代表・女子セブンズアカデミー(4～3月)11月を除く>

④ トップレフェリー夏季合宿派遣 41試合

7月25日～8月14日 網走市・北見市・美幌市

⑤ 夏季 TL プレシーズンマッチ・チーム練習への派遣

関東・関西・九州 41試合派遣

⑥ JTL 派遣(10～2月)

各地域 91試合派遣

⑦ 秋・冬季 TL トレーニングマッチへの派遣

関東・関西・九州 61試合派遣

⑧ 全国高校大会若手レフリー研修会

12月27日～1月3日 大阪 花園

(大会レフェリー担当・他競技から学ぶ(ハンドボール家永審判長)、ペアーレフェリー活動状況、メンタルトレーニング・コーチング・セルフリフレクション)

⑨ 全国各種大会派遣

11～1月 全国大学選手権大会(東京・熊谷・瑞穂・大阪・福岡)

1月 全国地区対抗(瑞穂)

全国高専大会(神戸)

全国クラブラグビー大会(熊谷・東京)

2月 日本選手権(東京・大阪)

⑩ アカデミーレフェリー研修会

・東京・大阪 計16回開催

(練習・公式試合担当・レビュー、トップレフェリー研修会参加、日本トップリーグ機構研修会参加、日本サッカー協会合同研修、メンタルトレーニング、ランニングフォームスキル、英会話トレーニング)

2. 海外交流(派遣・受け入れ)

①派遣関係

- ・アジア5ネーションズカップ 6試合派遣
- ・アジアエリートキャンプ(マニラ) 8名派遣
- ・アジア派遣(アジア圏での国際試合・大会) 17試合
- ・Asia Pacific Barbarians vs. Saracens(香港)派遣
- ・IRB JWRT U-20 大会(USA・ソルトレーク)派遣
- ・IRB Talent Optimization(南アフリカ)派遣
- ・IRB World 7's 派遣
- ・IRB World University 7's(フランス・ボルド)派遣
- ・NZ エリート研修(ウエルントン)6月25日～9月30日
- ・NZ・ITM カップ派遣
- ・NZ・ワイカトアカデミー研修 2名派遣
- ・香港協会交流
- ・UAE 協会交流
- ・USA 協会交流

②受入関係

- ・IRBレフェリーアドバイザーの招聘(8月菅平・東京)
- ・IRB World 7's(3月東京)
- ・IRB レベル3講習会(8月菅平)4名受講
- ・サニックスユース大会(福岡 4月28日～5月5日)
- ・NZ 協会レフェリーマネージャー招聘(6・11・2月)
- ・NZ・ワイカト協会レフェリー交流(8月北海道)
- ・French Barbarians マッチ(6月東京)
- ・アジア5ネーションズカップ
- ・パシフィックネーションズカップ
- ・香港協会レフェリー交流(3月東京・8月北海道)
- ・UAE 協会レフェリー交流(8月菅平)
- ・USA協会レフェリー交流(3月東京)

3. レフェリーコーチ・評価研修活動

- ①全国高校選抜大会研修会 3月31日～4月7日 埼玉 熊谷ラグビー場
- ②ワールドユース大会研修会 4月28日～5月5日 福岡 宗像市
レフェリーコーチ 8名
- ③海外招聘レフェリーコーチによる巡回指導(6・8・11・2月)
- ④IRB トレーナー・エデュケーター資格取得講習会(7月東京) 7名受講
- ⑤パネル・三地域・女子レフェリー研修(8月)
レフェリーコーチ 18名
シーズン基準合わせ
- ⑥全国高校大会研修会 12月26日～1月3日 大阪 花園
レフェリーコーチ 16名
大会基準合わせ・カウンセリング

4. その他

①委員会活動

部門・三地域委員長合同会議

6月17日 東京・秩父宮、12月8日 東京・秩父宮、12月30日 大阪・クライトンホテル

3月9日 東京・秩父宮。

2. ルール部門

具体的な取り組み

- ・IRB ELV 施行に向けての見解集約、IRB からの情報収集を行った。
- ・ラグビーの日本における正しい発展を目指し、IRB ヘルール改正の提言・実現を図った。
- ・ルールとレフリングのギャップ解消に努めた。
- ・ルールの分かりやすい説明・啓蒙活動を行った。

9. 高校委員会

1. 部会の開催

①(公財)全国高体連ラグビー専門部全国会議

- 4月 14日(土)常任委員会
15日(日)専門委員長会
東京:ホテルフロラシオン青山
12月 25日(火)常任委員会
26日(水)専門委員長会
大阪:ホテルアウィーナ

②高校委員会会議

- 10月7日(日)名古屋・名駅サテライトキャンパス

2. 全国高体連関係

- 4月10日(火)総体検討委員会(東京)
4月20日(金)総体中央委員会(東京)
5月22日(火)評議委員会(東京)
6月12日(火)専門部長・委員長会(東京)
9月11日(火)総体検討委員会(東京)
9月20日(木)総体中央委員会(東京)
11月13日(火)専門部長・委員長会(東京)
3月16日(土)評議委員会(東京)

3. 大会関連

①第13回全国選抜大会

- 埼玉県熊谷市:熊谷ラグビー場
平成24年3月31日(土)～4月7日(土)
東福岡24-22石見智翠館
女子セブンズの部 9チーム参加
カップ優勝 YRA/関東クラブ選抜
プレート優勝 石見智翠館/中国・四国選抜
ボウル優勝 SCIX/近畿セブンズアカデミー

②ジャパンセブンズ 2012 高校の部

- 平成24年4月14日(土)
東京都江戸川区:江戸川区陸上競技場
カップ優勝 東北選抜
プレート優勝 中国選抜
ボウル優勝 四国選抜
優秀賞 上羽 侑玖(近畿) 野村 壕(九州)
MVP 布施 孝洋(東北)

③サニックス 2012 ワールドラグビーユース交流大会

- 平成24年4月28日(土)～5月5日(土)
福岡県宗像市:グローバルアリーナ
優勝 ケルストン ハイスクール(NZ)

④第8回全国高等学校合同チームラグビー大会

- 平成24年7月31日(火)～8月3日(金)
長野県:上田市菅平高原サニアパークで開催
U17 カップ優勝 近畿 プレート優勝 中国
ボウル優勝 北海道
U18 カップ優勝 近畿 プレート優勝 関東
ボウル優勝 北信越
U17 ブロック優秀選手

- 北海道:亀井智輝 東北:天野椋平 関東:伊藤大地
北信越:加藤颯孝 東海:山田英貴 近畿:野中翔平
中国:玉置功典 四国:渡部寛太 九州:東川寛史

- 第2回女子7人制大会 8チーム参加
カップ優勝 関東 プレート優勝 近畿

⑤第66回国民体育大会

- 平成24年10月5日(金)～9日(火)
少年の部 岐阜県関市で開催

- 優勝 大阪府 29-24 福岡県

⑥第92回全国高校ラグビー大会

- 平成24年12月27日(木)～平成25年1月7日(月)
大阪:近鉄花園ラグビー場
常翔学園17-14御所実業

⑦第43回全国高専大会

- 平成25年1月4日(火)～9日(日)
兵庫県神戸ユニバー記念陸上競技場及びホームズ
タジアム神戸

- 神戸市立工業高専33-12仙台高専・名取

⑧第5回U18 合同チーム東西対抗戦

- 平成25年1月7日(月)
大阪:近鉄花園ラグビー場
西軍57-7 東軍

4. 強化指導

①トライリージョンズ

- 平成24年6月22日(金)～25日(月)
和歌山県:上富田スポーツセンター

②U16/U17 ブロックトレセン

- 全国9ブロックで開催

③U17合同チーム大会・合宿

- 平成24年7月29日(土)～31日(月)
長野県:上田市菅平高原

④タレントID事業

- 平成23年8月2日(火)～5日(金) 菅平
高校生14名 大学生3名 招集

⑤日韓中ジュニア交流競技会

- 韓国:光州広域市
平成24年8月19日(日)～22日(水) 合宿
平成24年8月24日(金)21-31 韓国
26日(日)59-7 中国
27日(月)64-7 光州代表

5. 普及指導

①合同チーム交流大会兼第32回普及指導講習会

- 平成25年2～3月(北海道24年4月)
全国9ブロックで開催

②スキルアップキャンプ 2012

- 平成24年8月3日(金)～8月6日(月) 長野県:菅平
36校623名が参加

6. 指導者研修

第37回高等学校指導者研修会

- 平成25年1月11日(金)～13日(日)

- 東京:日本青年館

- 全国9ブロックから2名の参加、研究発表と講演、
大学選手権決勝観戦

7. 高校海外交流

①高校日本代表海外遠征
イタリア・フランス

平成25年3月9日～26日

13日(水) 日本17-14 U18 イタリア

17日(日) 日本24-12 U18 イタリア

20日(水) 日本27-22 U18ポール・エスポワール選抜

23日(土) 日本17-46 U18 フランス

②第20回日韓中ジュニア交流競技大会

韓国:光州広域市

平成24年8月19日(日)～22日(水) 合宿

平成24年8月24日(金)21-31韓国

26日(日)59-7中国

27日(月)64-7光州代表

8. その他

①高校ラグビーの改革についての検討。

②女子ラグビーの普及と強化。女子委員会との連携。

選抜大会・合同チーム大会・全国高校ラグビー大会での
女子7人制大会の実施。

10. 安全対策推進委員会

1. 各委員会・部門と連携し、横断的組織として活動した。
2. 「重症事故の撲滅」と「安全なラグビーの普及・徹底」を掲げ、安全対策の指導を行った。
3. 重症事故の再発を防止し、重症事故撲滅を図るべく発生事故に対する調査・分析・研究を行った。
4. チーム責任者等に『重症事故撲滅対策』の意識付けを行い、チーム内においてチームの責任者が事故撲滅の啓発活動の牽引役を担い自ら事故撲滅・安全推進活動を展開できる組織的なサポートを実行した。
5. 「安全推進講習会」を開催し、「重症事故の撲滅」と「安全なラグビーの普及」の徹底を図った。
 - ①安全推進講習マニュアル DVD の作成と管理
 - ②安全推進講習会講師としてのトレーナーの育成
 - ③安全推進講習会医務関連講師の育成
6. チーム登録資格要件の追加など、速やかに具体的施策を実施した。
7. 重傷事故分析班の活動を更に推進すべき努力をしているが事故記録の収集等問題が多かった。
8. 2013年度に向け、また中長期的展望の下、新たな施策を検討、実施した。
9. 普及・啓発活動
外傷・傷害の撲滅を目指し啓発活動の継続的実施。
<具体的な取り組み>
 - ・各委員会・部門と連携し重症事故の撲滅に努力した。
 - ・日本協会のHPを利用して、タイムリーな事例を掲載して、啓発した。
10. 調査・検討
IRB 重症報告の基準に従い重症事故データの継続的集計・分析
<具体的な取り組み>
 - ・重症傷害報告書、1ヶ月後経過報告書を提出する体制の組織強化を行うことを目標に活動したが不十分であった。
 - ・重症傷害者に関するアフターケアの方向性を模索した。
11. 研修会開催
 - ①スキルアップ研修会
<具体的な取り組み>
 - ・8月初旬、菅平において高校生及びその指導者を対象とした講習会に講師を派遣した。
 - ②各都道府県安全対策研修会
<具体的な取り組み>
 - ・安全推進講習会運用マニュアルを作成し、研修会のスムーズな運営を図った。
 - ・安全対策事業報告書を作成し、各都道府県での研修会后、報告書を提出させた。
 - ・三地域及び各都道府県で開催される安全対策講習会に講師を派遣した。
12. セーフティ・アシスタント管理
従来のメディカルサポーター制度の見直し並びにセーフティ・アシスタントとしての新たな制度の運営を図った。
<具体的な取り組み>
 - ・各都道府県でのセーフティ・アシスタントの養成状況を把握した。
 - ・セーフティ・アシスタント管理に関する認定証・手帳を新たに発行した。認定者管理については、支部協会とともに日本協会でも情報共有することにした。
 - ・セーフティ・アシスタント講習会のあり方を検討した結果、全国統一の講習マニュアルを作成した。
13. 委員会の開催
重症事故の速やかな対応・分析を図るとともに、各都道府県での安全推進講習会の実施状況や次年度の重点項目を

策定するため年間4回委員会を開催した。

14. 連携

競技力向上委員会、審判委員会、中学・高校委員会との連携を一層強化し、外傷・障害の減少を図った。

11. メディカル委員会

メディカル部門

三地域協会および都道府県医務委員会間の整合性をとりながら広範な医学的支援を行った。

- ①委員会・医事担当部門会議・三地域連絡協議会
- ②医務担当・日本協会主催試合(主管協会と連携)
- ③日本代表チームメディカル部門担当(含む海外遠征)

1. 三地域連絡会議／部門会議／メディカル総会

【三地域】2012年7月1日(日)／場所:ジャパンプラブ

【部門会議】2013年3月17日(日)／場所:ジャパンプラブ

【総会】2013年3月16日(土)／場所:ジャパンプラブ

2. 各代表カテゴリーへのメディカルサポート

代表チームへのドクター派遣

<日本代表>

・高澤 祐治(順天堂大学)

- ① 4月1日～7日 強化合宿(静岡)
- ② 4月18日～5月20日 アジア5ネーションズカップ
- ③ 5月28日～7月2日 IRB パシフィック・ネーションズカップ／リポビタンDチャレンジ
- ④ 10月28日～11月27日 欧州遠征

・守屋拓朗(千葉労災病院)

- ① 11月10日～11月19日

<ジュニアジャパン>

・川崎 隆之(順天堂大学)

- 3月9日～3月24日 パシフィックラグビーカップ

<U20代表>

・五反田清和(済生会福岡総合病院)

- ① 5月9日～5月25日 ウェールズ遠征
- ② 6月14日～7月3日 ジュニアワールドトロフィー

・松原庸勝(久留米大学大学院)

- 7月28日～8月5日 ジュニアワールドトロフィーアジア予選

<7人制代表(男子)>

・田崎 篤(聖路加国際病院)

- ① 3月31日～4月1日 東京セブンズ
- ② 7月14日～7月15日 7人制ラグビー世界学生選手権(フランス)
- ③ 10月30日～11月4日 ワールドカップアジア地区予選(シンガポール)
- ④ 3月19日～25日 香港セブンズ

・釘宮基泰(国立病院機構西別府病院)

- ① 6月16日～6月22日 U20アジアセブンズトーナメント(マレーシア)
- IRB セブンズワールドシリーズ アメリカ大会

<15人制代表(女子)>

・釘宮基泰(国立病院機構西別府病院)

- ① 5月15日～5月18日 香港代表戦(東京)
- ② 6月30日～7月8日 アジア4か国対抗(中国)

<7人制代表(女子)>

・田崎 篤(聖路加国際病院)

- ① 7月14日～7月15日 7人制ラグビー世界学生選手権(フランス)
- ② 10月30日～11月4日 ワールドカップアジア地区予選(シンガポール)
- ③ 3月19日～25日 香港セブンズ

<高校代表>

・守屋拓朗(千葉労災病院)

①3月9日～3月26日 イタリア・フランス遠征

3. トップリーグ各試合、大学選手権、全国高校大会等へのメディカルコミッショナー・マッチドクターの派遣、及び観客対応。
4. ラグビードクターフォーラムの開催
日時:2月16日(土) / 場所:ホテル阪急インターナショナル
5. 安全推進講習会の開催

トレーナー部門

日本代表チームメディカル部門担当(含む海外遠征帯同トレーナー派遣)と、トレーナーの位置付けを明確にするとともに人材の育成を行なう

- ①代表チームトレーナー派遣
- ②人材育成事業(ラグビートレーナー育成)
- ③トップリーグメディカルコントロール部会との連携強化およびその他の必要な事業
- ④女子委員会へのトレーナー的支援

<日本代表>

- 4月1日～7日 強化合宿(静岡)
- 4月18日～5月20日 アジア5ネーションズカップ
- 5月28日～7月2日 IRB パシフィック・ネーションズカップ/リポビタンDチャレンジ
- 10月28日～11月27日 欧州遠征

<ジュニアジャパン>

- 3月9日～4月9日 パシフィックラグビーカップ

<U20代表>

- 5月9日～5月25日 ウェールズ遠征
- 6月14日～7月3日 ジュニアワールドトロフィー
- 7月28日～8月5日 ジュニアワールドトロフィーアジア予選

<7人制代表(男子)>

- 3月31日～4月1日 東京セブンズ
- 6月16日～6月22日 U20アジアセブンズトーナメント(マレーシア)
- 7月14日～7月15日 7人制ラグビー世界学生選手権(フランス)
- 8月29日～9月3日 ボルネオセブンズ
- 10月11日～10月15日 ムンバイセブンズ
- 10月30日～11月4日 ワールドカップアジア地区予選(シンガポール)
- 3月19日～25日 香港セブンズ
IRB セブンズワールドシリーズ アメリカ大会

<15人制代表(女子)>

- 5月15日～5月18日 香港代表戦(東京)
- 6月30日～7月8日 アジア4か国対抗(中国)

<7人制代表(女子)>

- 7月14日～7月15日 7人制ラグビー世界学生選手権(フランス)
- 8月28日～9月4日 ボルネオセブンズ
- 10月3日～10月9日 ワールドカップアジア地区予選(インド)
- 3月19日～25日 香港セブンズ

<高校代表>

- 3月9日～3月26日 イタリア・フランス遠征

<トレーナーセミナー/研修会>

九州地区: 2012年7月8日(日) / 福岡県ラグビーフットボール協会 会議室
東京:2013年3月9日～10日/味の素ナショナルトレーニングセンター

<部門会議>

2013年3月16日 場所 ジャパンクラブ

12.女子委員会

- ① 第13回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会 女子セブンズの部

- 4月5日(木) 熊谷ラグビー場
9チーム参加 YRA/関東クラブ選抜優勝。
- ② コベルコカップ 2012
7月31日(火)～8月3日(金)菅平高原
普及の部とHPの部の2部にて行った。
- ③ 太陽生命カップ 2012
9月15日(土)～9月17日(月)水戸ケーズデンキスタジアム他
関東3、関西1、九州1、フレンドリーチーム1の6チームの参加。
- ④ 第25回女子ラグビー交流大会
11月23日(金) 江戸川区陸上競技場
22チーム、173名が参加した。「会長杯」として、関東大会と関西大会の優勝チーム(単独チーム)の試合実施。
名古屋レディースが優勝。
- ⑤ 第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会 エキシビジョン
12月27日(木) 花園ラグビー場
コベルコカップのHPの部から選抜2チーム1試合、普及の部から選抜2チーム1試合、合計2試合行った。
- ⑥ 第14回Japan Women's Sevens
平成25年3月17日(日) 瑞穂ラグビー場
13チーム参加 日体大が優勝
- ⑦ 15人制3地域対抗戦
12月2日(日)熊本 九州代表 VS 関東代表
12月15日(土)秩父宮 関東代表 VS 関西代表
12月23日(日)ヤマハ 九州代表 VS 関西代表
すべてトップリーグの前座試合として行われた。

【特別委員会】

1. アンチ・ドーピング委員会

IRB規定、WADA規程、およびJADA規程を遵守するために、国内ドーピング防止機関であるJADAと連携調整しながら、ラグビーにおける選手、コーチ、トレーナー、チームDr等関係者を対象にして、ドーピング防止活動を行った。

1. ドーピング検査

- ・JADAと協力して、競技会検査165検体(トップリーグ76検体・大学チームの定期戦(関東大学対抗戦・リーグ戦、関西大学Aリーグ、九州学生リーグI部)49検体・大学選手権12検体・日本選手権12検体、IRB主催試合16検体)を実施した。IRBが主催した試合ではIRB主催の検査に協力した。競技会外検査はJADAが192検体(尿検体はトップリーグ79検体、大学70検体、15人制日本代表16検体、7人制日本代表13検体、7人制女子日本代表6検体、血液検体15人制代表8検体)実施した。競技会検査と競技会外検査で陽性例が認められず、ラグビー選手のクリーンさを示すことが出来た。
- ・今年度より大学チームの定期戦(関東大学対抗戦・リーグ戦、関西大学Aリーグ、九州学生リーグI部)でも検査を実施する事により、大学選手のドーピング防止教育啓発を行った。また、これらの大学チームについては、チーム居場所情報の提出を義務化して、競技会外検査の対象とし、一層のドーピング防止教育啓発を図った。
- ・JADAおよびIRBの居場所情報管理について、JADAとの調整を行った。
- ・治療目的使用に係る除外措置申請手続き(TUE)の助言と指導を行った。

2. 普及活動、セミナー開催、情報提供活動

- ・トップリーグの各チームDrとトレーナーを対象にドーピング防止関連の情報提供を行った。
- ・チームに対するドーピング防止講習会に使用するプレゼンテーション資料を作成し、講習会を7回(関東、関西、九州地区の各大学代表者会議各1、トップリーグ1、大学2、ジュニアジャパン1)実施した。
- ・日本代表(15人制、7人制)各チーム、トップリーグ各チーム、日本選手権出場チーム、全国大学選手権出場校、女子日本代表チームにJADA作成のドーピング防止関係教材を配布した。
- ・3地域協会を通じて、JADA作成のドーピング防止教材を提供し、各協会の大学チーム等へ配布を依頼した。
- ・第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会では、JADAのアウトリーチ・プログラムの実施に協力し、第14回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会では、本委員会でアウトリーチ・プログラムを実施した。

2. 登録者傷害見舞金委員会

1. 平成24年度版「(財)日本ラグビーフットボール協会登録者傷害見舞金制度要綱」を作成し、ホームページにアップして

制度の告知、浸透を図った。

2. 新公益法人法に基づく今後の運用方法を検討し、公益に資するこの制度をそのまま残すこととした。
3. 傷害データの実態把握ならびに統計分析を検討した。
4. 見舞金給付表の一部見直しを行った。特に、安全対策、特に脳振盪および脳振盪の疑いへの補助策を考慮した。
5. 三地域協会の年度別実績を集計し、今後の運営方の参考とした。
6. 重症事故撲滅および安全なラグビーに資するため安全対策委員会と連動し活動を行った。

戦略室

JRFU 戦略計画に関して以下の業務を行った。

- ① 戦略計画のレビューと修正・追加
- ② 戦略計画の周知徹底(三地域理事会にて進捗報告)
- ③ 都道府県協会訪問による戦略計画の説明と意見交換、事例の収集と機関誌／ウェブページ／一斉メール等での発信を行った。また、都道府県単位の戦略計画策定を推進。
- ④ 戦略室固有業務である市町村協会設立推進のため。「市町村協会新設補助金」を継続、各都道府県に通知、結果6新設市町村協会による利用があり、情報やノウハウの蓄積に寄与。24年度新設協会は9協会となった。
- ⑤ タレント発掘部門、代表事業部と連携し、地域の選手の発掘・育成・強化及び各種普及策を推進するためのパートナーとなる「パートナークラブ」制度を運営した。北海道バーバリアンズによる7人制大会発足。
- ⑥ 競技者登録システムを中心としたデータベースシステムを発足し、即時、効率的な登録者動向、普及策検討につながる分析を実施した。

関東ラグビーフットボール協会

<各委員会報告>

1. メディカル委員会

1. 委員会活動

- 1) 総務委員会 各小委員会の支援、日本協会との連携
- 2) 傷害安全対策委員会 重症傷害データ分析と報告
- 3) 救急医療委員会 秩父宮医務室、医務用品の管理
- 4) 医師派遣委員会 協会主催試合へのマッチドクターの派遣
- 5) 学術委員会 ラグビー傷害・外傷対応マニュアルの改訂
- 6) 歯科委員会 マウスガードの普及と有用性の学術的検討

2. 都道府県医務委員長会議

- ・24年9月1日(土) 於日本青年館
- ・25年1月20日(日) 於都立青山高校

3. メディカル委員会総会

平成24年9月2日(日) 於日本青年館

「ラグビーとくびのケガ(頸髄損傷)その実態と対策」東京女子医科大学 整形外科教授加藤義治先生

4. 日本協会メディカル委員会への参加

5. 三地域連絡協議会への参加

6. 日本協会主催試合(東京セブンス2013、トップリーグを含む)の医務活動への協力

2. レフリー委員会

1. 会議関係

- (1) 総務会 24年7月～25年1月開催
- (2) 定例委員会会議 毎月1回
- (3) 関東協会各都道府県レフリー委員長会議
 - ・25年3月16日
- (4) レフリーマンディーマーケティング
 - ・24年9月～25年2月、毎週月曜日

2. 研修会関係

- (1) 東北新人大大会レフリー研修会
 - ・24年2月9日～11日、福島県
- (2) 関東高校レフリー・レフリーコーチ研修会

- ・24年6月8日～10日、茨城県鹿島市
 - (3) 北信越レフリー研修会
 - ・24年6月18日～19日(火)、菅平高原
 - (4) 新潟県レフリー養成研修会
 - ・24年6月5日、新潟県
 - (5) ジュニアジャンボリー女子レフリー研修
 - ・24年7月20日～22日、菅平高原
 - (6) 東北レフリー研修会
 - ・24年6月15日～17日、秋田県
 - (7) B級レフリー認定講習会
 - ・24年8月10日～12日、菅平高原
 - (8) B級トップ研修会
 - ・24年8月17日～19日、菅平高原
 - (9) 三地域候補選抜研修会
 - ・24年8月24日～26日、菅平高原
 - (10) 女子レフリー研修
 - ・24年8月19日～21日、菅平高原
 - (11) 全国中学生選抜大会女子レフリー研修
 - ・24年12月29日～31日、大阪花園
3. 各部会・講習会
- (1) コーチ部会
 - ・東京都レフリーコーチ研修 (I・R・B レベルI)
 - ・北関東レフリーコーチ研修 (I・R・B レベルI)
 - ・北海道レフリーコーチ研修 (I・R・B レベルI)
 - (2) 指名部会
 - 春季オープン戦レフリー割当
 - 公式戦レフリー割当
 - (都道府県対抗、社会人、クラブ、高校、大学、入替戦、国民体育大会予選等)
 - (3) T・R・D 部会
 - (4) 国際関係
 - NZ ウェリントン協会交流
 - 派遣 24年5月25日～6月4日、松丸力、谷川永一郎
 - 受入 24年11月8日～11月9日、レフリー：ティモシー・ベーカー

3. 安全対策委員会

1. メディカルサポーター制度からセイフティーアシスタント制度へのスムーズな移行を図る。
2. 菅平高原及び夏の合宿地での安全対策啓発活動
 - ・熱中症の予防
 - ・個人登録の義務認識
 - ・安全対策啓発ポスターの配布
 - ・高校生対象のスキルアップ講習会での安全対策講習会の実施
3. 日本協会安全対策委員長会議の開催
 - ・1月20日(日) 11:00～、都立青山高校講堂
 - ・テーマ 「脳振盪のプロトコルの再確認」
4. 各都道府県における安全推進講習会の開催とその受講義務の徹底 (日本協会安全対策委員会との連携)
5. 随時、重症傷害予防に関する注意喚起を促し、その啓発を図る。
6. 脳振盪・脳振盪の疑いの報告書及び復帰証明書の提出先と方法の徹底を図る。

4. コーチ委員会

1. 指導者養成事業
 - (1) 強化コーチ養成講習会

- ・24年7月28～8月2日
 - ・代々木オリンピックセンター
 - (2) 育成コーチ養成講習会
(北海道) 5月26日、27日、6月2日、3日
(東京/茨城) 1月19日、20日、26日、27日
 - (3) IRB Super Week (IRB 講習会複数開催)
 - ・IRB Master Trainer コース 7/24 - 7/30 参加者1名
 - ・IRB Trainer コース 7/25 - 7/30 参加者2名
 - ・IRB Educator コース 7/26 - 7/31 参加者13名
 - * Educator コースはコーチとマッチオフィシャルの両方を開催
 - ・IRB Level3 コーチ養成講習会 7/26日- 7/29
 - 場所：全て秩父宮ラグビー場
 - (4) 関東協会トップチームコーチ会議
 - ・24年7月14日
 - ・秩父宮ラグビー場
 - ・日本代表の戦い方 (エディジョーンズ日本代表監督)
 - (5) 新スタートコーチ資格認定講習会及びブラッシュアップ講習会
各都道府県にて開催された。
2. 地域推進事業
- (1) 都道府県コーチ委員長会議
 - ・25年2月24日
 - ・秩父宮ラグビー場
 - ・24年度事業報告と平成25年度事業計画
3. コーチ派遣事業
- (1) 第5回東北地区高専ラグビー講習会
 - ・24年6月23、24日
 - ・宮城高専グラウンド
 - ・コーチ：IRB エducator谷地村氏、日本協会リソースコーチ後藤氏
 - (2) 岩手県北上地区中学生初心者指導講習会
 - ・24年8月4日
 - ・北上総合運動公園
 - ・コーチ：IRB トレーナー黒岩
4. その他
- ・日本協会コーチ部門報告
 - ・コーチデータベース登録者数、13,537名
 - ・24年度コーチ資格新規取得者：
 - 新スタートコーチ781名 (2月19日現在)
 - 育成コーチ 69名
 - 強化コーチ 42名

5. 普及育成委員会

《中学校部門》

- (1) 大会開催 (主催)
 - ① 第63回関東中学校ラグビーフットボール大会、
兼太陽生命カップ第3回全国中学生大会～中学校の部～関東予選大会
 - ・24年6月10～11日、18日、熊谷ラグビー場
 - ② 第14回東日本ジュニアラグビー菅平ジャンボリー
 - ・24年7月28～29日、菅平サニアパーク他
 - ③ 第3回北海道・東北中学校ラグビーフットボール大会、
兼2012太陽生命カップ第3回全国中学生ラグビーフットボール大会～中学校の部～北海道東北予選大会
 - ④第32回東日本中学生ラグビーフットボール大会～中学校の部～
 - ・12月24日 決勝戦、第3位決定戦 秩父宮
 - ⑤第10回東日本U15ラグビーフットボール選抜大会～春の選抜～
 - ・25年3月16～17日、水戸市ツインフィールド、K's デンキスタジアム水戸

(2) 大会主管とチーム派遣

「2012 太陽生命カップ第3 回全国中学生ラグビーフットボール大会」
・24 年9 月15～16 日、17 日、水戸市ツインフィールド、K' s デンキスタジアム

(3) 支部協会選抜チームの派遣（及び優秀選手の選出）

「第18 回全国ジュニアラグビーフットボール大会」
・24 年12 月29 日、31 日 = 大阪府東大阪市花園ラグビー場他=

(4) 会議その他

中学校部門会議、及び中学生全体主要幹部会議を開催した。

《スクール中学生部門》

(1) 大会開催（主催）

① 第6 回東日本U15 中学生ラグビークラブ大会、兼太陽生命カップ第3 回全国中学生大会～ラグビースクールの部～東日本予選大会

・6 月16 日～17 日、習志野自衛隊グラウンド

② 第14 回東日本ジュニアラグビー菅平ジャンボリー

・24 年7 月28～29 日、菅平サニアパーク他

③ 関東協会管下の東日本全地域17 都道府県のブロック大会を以下の通り開催した。

i) 第33 回東北中学生ラグビー交流大会

・8 月11 ～12 日、青森市スポーツ広場

ii) 第19 回関東甲信越ジュニアラグビー交流大会

・9 月9 日、高崎市豊岡ラグビー場

④第32 回東日本中学生ラグビーフットボール大会 ～ ラグビースクールの部～、兼第18 回全国ジュニアラグビー大会東日本地区予選

[地域対抗戦（第1 回戦リーグ）]

・10 月14 日 第1 地区：（北海道、青森・秋田、岩手）青森市スポーツ広場

・10 月21 日 第2 地区：（宮城県、福島、新潟）いわき市惣来・鮫川河川敷公園

・10 月28 日 第3 地区：（栃木、群馬、茨城）栃木県那須郡南那須町・森山花木公園

・10 月21 日 第4 地区：（長野、埼玉、千葉）熊谷ラグビー場C グランド

・第5 地区：東京都（第2 シード） 第6 地区：神奈川県（第1 シード）

[準決勝リーグ戦]

・24 年11 月15 日（準決勝リーグ）千葉市天台

・24 年11 月16 日（カップ決勝、プレート優勝戦、全国ジュニア第4代表決定戦、順位戦）千葉市天台

⑤第10 回東日本U15 ラグビーフットボール選抜大会～春の選抜～

・25 年3 月16 日～17 日、水戸市ツインフィールド、K' s デンキスタジアム水戸

(2) 大会主管とチーム派遣

「2012 太陽生命カップ第3 回全国中学生ラグビーフットボール大会」
・24 年9 月15 ～17 日、水戸市ツインフィールド、K' s デンキスタジアム水戸

(3) 関東協会管下都道府県協会選抜チームの派遣（及び優秀選手の選出）

「第18 回全国ジュニアラグビー大会」
・24 年12 月29 日、31 日、花園ラグビー場他

(4) 会議その他

スクール中学生部門ワーキング会議、及び中学生全体主要幹部会議を開催した。

《タグラグビー部門》

8 月：岩手県紫波町 東日本震災支援交流大会を開催

東京都、神奈川県、千葉県を主体に、福島県、宮城県、岩手県の小学生の交流試合を、紫波町にて一泊二日にて実施

10～12 月：サントリーカップ第9 回全国小学生タグラグビー選手権大会地区予選

《ミニラグビー部門》

8 月：東北小学生交流大会（東北震災復興支援ともだちカップ）宮城県陸自船岡駐屯地

10 月：第12 回小学生ラグビーフットボール交流大会 秋田市八橋運動公園

11 月：西関東甲信ミニラグビーブロック交流大会 上柚木陸上競技場（指導者講習会開催）

24 年11 月：東北地区指導者講習会 岩手県滝澤村 盛岡大学

25 年 2 月：関東地区指導者講習会 埼玉県東松山リコー研修センター

6. セレクションコミッティ・強化委員会

1. 委員会開催

- (1) 24年4月、関東代表NZ遠征会議、秩父宮
- (2) 同：関東代表NZ遠征に伴う日本協会、日本代表事業部との意見交換会、秩父宮
- (3) 24年12月1日、NZ学生代表来日に伴う選手選考、スケジュール調整会議（国立大会議室）
- (4) 25年2月24日、NZ学生代表来日に伴う選手選考、スケジュール調整会議（国立競技場オリンピア）
- (5) 25年3月30日、3地域セレコン委員長会議（秩父宮）

2. 関東代表NZ遠征

- (1) 24年4月14日～29日
- (2) 人数：選手30名、スタッフ9名
- (3) 試合結果
 - ・第1戦 4月18日、於：PETONE REC
関東代表（5 - 47）オーストラリア学生代表
 - ・第2戦 4月21日、於：WESTPAC Stadium
関東代表（22 - 53）
 - ・第3戦 4月24日、於：Onewa Domain
関東代表（21 - 0）NZ Barbarians
 - ・第4戦 4月25日、於：Merton Rd グランド
関東代表（74 - 33）NZ 北島学生選抜

3. セレコン委員による試合観戦

年間を通じて、主に大学、トップイースト、トップリーグの試合を観戦し、人材発掘を実施

4. 関東高校選抜・イーストジャパンHS

- ・3月9日～11日 関東高校選抜候補講習会及びセレクションマッチ（立正大）
- ・3月16日～18日 関東3ブロック対抗戦（関東・東北・北海道）流通経済大委員2名派遣協力

5. その他

- ・25年1月28日、大学監督会議への参加（秩父宮）
- ・25年3月11日 大学監督を交えた関東学生代表選手選考会議（秩父宮）

7. 社会人委員会

1. 各種大会実施・参加

- (1) 第53回Y&CAC セブンズ
- (2) 第49回東日本都道府県対抗大会開催、八幡平
- (3) 第67回国民体育大会ブロック国体
関東ブロック：8月24日・26日、江戸川他
- (4) ジャパンラグビートップリーグ主管
ジャパンラグビートップイーストリ、Div1、Div2、関東社会人リーグ、トップチャレンジリーグ2、
トップチャレンジリーグ1

2. 全体会議

- (1) 社会人委員会
 - ・25年2月11日、秩父宮
- (2) 社会人委員長会議
 - ・25年2月23日、秩父宮

8. クラブ委員会

1. 第20回全国クラブ大会の主管

- ①期日／2012年12月24日（熊谷）、2013年1月13日（熊谷）、1月20日（秩父宮）
- ②出場チーム／6チーム（関東3、関西2、九州1）
関東協会から北海道バーバリアンズ、タマリバ（神奈川）、駒場WMM（東京）を派遣。
- ③戦績／優勝・六甲ファイティングブル（兵庫）

2. 第9回東日本トップクラブリーグの主催（兼、第20回全国クラブ大会東日本地区予選）

- ①期日／9月16日～11月8日（月寒、駒沢、大沢、水戸、秩父宮）※決勝戦は有料試合（秩父宮）
- ②出場チーム／7チーム
- ③戦績／優勝・北海道バーバリアンズ、2位・神奈川タマリバ

3. 第22 回東日本クラブトーナメント大会主催
 - ①期日／ 9 月9 日～10 月28 日（神奈川、岩手、熊谷他）
 - ②出場チーム／ 23 チーム
 - ③戦績／優勝・戸田オーバーザトップ（埼玉）、準優勝・Sharks（神奈川）
4. 第31 回ラグビーフェスタ2012 イン・スガダイラの主催
 - ①期日／ 7月7日～8日
 - ②会場／菅平高原各グラウンド、サニアパーク
 - ③出場チーム／ 29 チーム（各県協会の推薦を受けたチーム）
5. 第29 回東北クラブ選手権大会の主催
 - ①期日／ 11月3日・4日・11日
 - ②会場／秋田市・盛岡市
 - ③出場チーム／ 6チーム（東北6 県）
 - ④成績／優勝・紫波オックス（岩手）、2 位・石巻体協（宮城）
6. 第20 回ラグビーフェスタ2012・イン・ハチマンタイの主催
 - ①期日／ 7月14日～15日
 - ②岩手県八幡平市
 - ③出場チーム／東北各県クラブチーム、首都圏クラブチーム、オーバー35 歳チーム
7. 東日本クラブセブンズ2012 の開催
 - ①期日／ 6月24 日
 - ②会場／駒沢補助競技場
 - ③出場チーム／学生クラブチーム、社会人チームチームで実施
 - ④成績／社会人優勝= 北海道バーバリアンズ、学生優勝= 慶応BYB
8. サンケイスポーツ杯第20 回関東学生クラブ選手権大会の主催
 - ①期日／ 9月16日～12 月16日
 - ②会場／駒沢補助、熊谷市営、サンケイスポーセンター、江戸川臨海他
 - ③出場チーム／ 1 部（6 チーム）、2 部（6 チーム）、3 部（6 チーム）、4 部（2 ブロック）
 - ④戦績（ 1 部）優勝・慶大BYB、準優勝・明大MRC
 （2 部）優勝・慶應JSKS、準優勝・くるみクラブ
 （3 部）優勝・拓大オリバーズ、準優勝・慶大理工学部
 （4 部）優勝・早大うえいらず、準優勝・防衛大
9. 第9回東西学生クラブ対抗試合へ関東代表を派遣
 - ①期日／12月16日
 - ②会場／熊谷ラグビー場
 関東、関西の学生クラブ選手権大会（各々9 ～11 月実施）の覇者による東西対抗試合。
 - ③成績／慶大BYB（関東）21 - 7 関西学院大上ヶ原（関西）
10. 学生クラブ東西交流ラグビーフェスティバル・イン・スガダイラ2012 の主管
 - ①期日／8月31日～9月2日
 - ②会場／菅平高原サニアパーク
11. 2012 東日本マスターズ大会
 - ①日時／6月16日
 - ②会場／駒沢補助競技場
 - ③参加チーム／7 チーム
 - ④成績／優勝・六郷クラブ（神奈川）
 準優勝・首都フェニックス・デンジェラス
12. 東北クラブ委員長会議の開催
 - ①期日／7月15日、八幡平市
13. 関東クラブ委員長会議の開催
 - ①期日／2月19日
14. 委員会、総務委員会の開催

9. 女子委員会

1. 東北・関東ユースセレクション
 期日 関東：4 月22 日・5 月6 日、東北：4 月22 日
 会場 東京・辰巳の森ラグビー場

2. 安全対策講習会
期日 5月27日
会場 東京・辰巳の森ラグビー場
3. 第63回関東中学校ラグビーフットボール大会女子7人制エキシビジョンマッチ
期日 6月9日
埼玉・熊谷ラグビー場
4. 千葉県ガールズ・ラグビーフェスティバル2012 千葉県協会主催
期日 6月24日
会場 千葉・IBM グランド
5. 関東地区トライアウト
期日 6月24日
会場 東京・専修大学グラウンド
6. ユース選手サマーキャンプ
期日 8月5日～8日
会場 群馬・草津温泉
7. 太陽生命カップ2012 第5回全国中学生ラグビーフットボール大会
U15 女子7人制エキシビジョンマッチ
期日 9月15日～17日
会場 茨城・ケーズデンキスタジアム水戸、ツインフィールド
8. 第23回東北・北海道交流大会
期日 10月27日
会場 奥州市桜つつみグラウンド
9. 第23回関東女子ラグビーフットボール大会
期日 9月30日、10月14日、10月28日
会場 埼玉・熊谷ラグビー場A、B グラウンド
10. 第1回横浜市女子セブンズ大会
期日 11月11日
会場 海の公園なぎさ広場グラウンド
11. 第6回ガールズラグビーフェスティバル
期日 11月24日
会場 埼玉・熊谷ラグビー場B・C グラウンド
12. 第2回横浜市女子セブンズ大会
期日 1月13日
場所 ニッパツ三ツ沢競技場
13. 東北・関東・関西・九州ユース交流戦
期日 1月19日～20日
会場 大阪・堺市トレーニングセンター
14. 第4回関東地区SEVEN' S IN KUMAGAYA
期日 2月24日
会場 埼玉・熊谷ラグビー場B・C グラウンド

その他

- 東北・関東ユース活動（小学5年～高校3年生）
- 高体連・女子登録チーム高校生女子合同練習会
- 女子ラグビー講習会・イベント活動

10. 大学委員会

1. 各種大会実施
 - (1) 第63回全国地区対抗 関東1区、2区予選実施、代表1区・東京学芸大学、2区・新潟大学
 - (2) 関東医歯薬リーグ実施 優勝：昭和大学
 - (3) 第13回東日本大学セブンズ
 - (4) リーグ戦、対抗戦など公式戦の実施
 - (5) 第34回関東大学ジュニア選手権
 - ・リーグ戦 24年9月1日～11月25日
 - ・プレーオフ入替戦 24年11月25日～12月12日（対抗戦、リーグ戦20チーム参加）

- ・優勝：帝京大学
- (6) 第1 回関東大学春季大会実施
- ・24 年4 月28 日～7 月1 日

2. 諸会議の開催

- (1) 大学スケジュール会議 24 年6 月4 日
- (2) 大学主務会議 24 年9 月4 日
- (3) 新陣容説明会 24 年9 月3 日
- (4) 監督意見交換会 25 年1 月28 日
- (5) 関東大学春季大会
 - ・ベスト15 選考会 24 年7 月10 日
 - ・表彰式 24 年7 月18 日
 - ・反省会 24 年10 月15 日

11. 高校委員会

1. 各種大会、予選会実施、全国大会参加
 - (1) ジャパンセブンズ2012 高校の部参加
4 月13 日（江戸川区陸上競技場）
 - (2) 関東高校代表対九州高校代表戦
4 月13 日（福岡さわやかスポーツ広場）
 - (3) 地区大会
 - ・第39 回北海道高校大会 7 月26 ～30 日（野幌）
 - ・第63 回東北高校大会 6 月14 ～17 日（秋田八橋）
 - ・第60 回関東高校大会 6 月9 ～10 日（鹿嶋）
 - ・第34 回北信越高校大会 6 月16・17 日（菅平サニアパーク）
 - (4) U16・17 ブロックトレセン・講習会
 - ・北海道ブロック 11 月3 ～4 日・6 月12 ～13 日（札幌市、帯広市）
 - ・東北ブロック 6 月29 ～31 日・6 月29 ～31 日（八幡平）
 - ・関東ブロック 3 月15 ～17 日・6 月15 ～17 日（千葉県、茨城県）
 - ・北信越ブロック 6 月22 ～24 日（菅平）
 - (5) ブロック国体・第66 回国民体育大会予選会
 - ・北海道大会 6 月12、13 日（帯広）
 - ・東北大会 8 月17・19 日（秋田八橋）
 - ・関東大会 8 月24・26 日（江戸川臨海）
 - ・北信越大会 8 月19・25、26 日（小浜市）
 - (6) 第66 回国民体育大会参加 10 月5 ～9 日（岐阜県関市）
 - (7) 第92 回全国高校大会参加 12 月27 日～1 月7 日（花園ラグビー場）
 - (8) 14 回全国高校選抜大会地区予選会
 - ・北海道新人大会 24 年10 月16 ～20 日（厚別市）
 - ・東北新人大会 25 年2 月6 ～9 日（いわき）
 - ・関東新人大会 25 年2 月16・17・23・24 日（熊谷ラグビー場）
 - ・北信越新人大会 25 年3 月9・10・16・17 日（飯田市）
 - (9) 関東都県対抗戦 24 年2 月17・23 日（熊谷ラグビー場）
 - (10) 第14 回全国高校選抜大会参加（熊谷）
2. 普及指導講習会の開催 — ブロック別少人数制大会
3. 第37 回高校ラグビー指導者研修会
4. 第14 回全国高校選抜大会の主管と準備会議の実施
5. 関東高校代表チームの編成と強化遠征試合→ユース代表選考活動
6. 高等専門学校チームとの普及・強化に向けた事業→各種大会への参加、新規大会の企画

12. ツアー委員会

1. 海外遠征申請手続き
日本協会への手続き上申
2. 外国チーム来日許可申請手続き
3. 国際大会への対応

13. 市町村協会担当

1. 日本協会戦略企画の中核を成す「ラグビーファミリーを増大させる」という課題の下、全市町村にラグビー協会を設立するミッションに関東協会としての独自の取り組みを行ってきた。
2. 「競技人口の増加」だけでなく、「観客数（ファン）の増加、ラグビーの支援者（関係者・関心者）の増加」までを含む、「するラグビー」「観るラグビー」「支えるラグビー」全ての拡大を目指すことを、2019年までの中期的計画として取り組んできた。
3. 地域活性化の推進の中核として、全市町村ラグビー協会設立の推進を図る。地方自治体との提携推進、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団など、地域に根付いた多角的なラグビークラブの活性化と拠点づくりを継続的に推進している。

14. 広報委員会

1. 関東協会「協会年鑑2012～2013年版」の作成と配布。
2. 関東協会「役員名簿2012～2013年版」の作成と配布。
3. 平成24年度試合日程メンバー表の作成と一般頒布。
4. 日本協会機関誌〈RUGBY FOOTBALL〉に関東協会だよりを執筆掲載。
5. 日本協会、関東協会主催・主管ゲームで、各種パンフレット・出版物の販売。
6. 日本協会広報活動への協力。
7. 関東協会「秩父宮ポスター」「トップイーストリーグ」ポスターの作成と配布、及び一般頒布。
8. 関東協会ポスターを、JR東日本首都圏管内各駅への駅貼りの実施。
9. 「トップリーグ」を主に各種告知活動を展開。
10. ラグビー普及・振興のための広報・広聴活動。
11. 関東協会「ホームページ」の運用。
12. 支部協会「ホームページ」運営の支援。
13. インターネット上での記録入力。
14. 試合当日の「メンバー表」の一般への無料配布。
15. 報道各社への「プレスリリース」の配信。試合後の記者会見実施。
16. 関東協会主催・主管試合の記録管理。
17. 日本協会主催試合の記録サポート。

15. 観客動員委員会

1. 観客動員委員会の原点に戻り、既存ファンの囲い込みと新規ファンを開拓
2. 24年度の活動対象を大学ラグビーに特化
3. 各種プロモーションを以下の様に実施
 - ①ポスター
 - ・2種類の共通ポスター制作 対抗戦G … AB16校に配布
リーグ戦G …1部～6部の全校に配布
 - ②プロモーションビデオ
 - ・リーグ戦・対抗戦Gの統合PVを制作・競技場で放映
 - ③校歌斉唱
 - ・CDもしくは関連団体の生斉唱を、選手整列の上、実施
 - ④Webメディアの活用 …… FB（フェイスブック）を立ち上げ、話題性喚起に寄与
 - ⑤昨年度から開始した「いい男企画」は、今年度も継続
 - ⑥大学女子Managerによる場内アナウンス（ルール解説）継続
4. 後援企業契約継続 …… 関東大学ラグビーの後援として「日本興亜損保」「そんぼ24」の2社が継続

16. 登録者傷害見舞金審査委員会

1. 各都道府県協会より報告された傷害報告、見舞金請求（診断書）に対し毎月審査委員会を実施。
2. 登録者傷害見舞金制度、関東協会管下分について収支明細及び見舞金支給者名簿を作成し日本協会へ報告。
*日本協会の登録者傷害見舞金委員会（特別委員会）の委員として当委員会より3名が参加。

17. 選手資格審査委員会

日本協会規約、トップリーグ規約、その他の関連する規約に従って、選手のチーム間の移籍、

外国人選手の登録等について審査を行った。

①外国人選手の新規登録

- ・日本協会規約第96条～103条等に基づいて審査。

②トップリーグ選手の移籍手続

- ・トップリーグ規約第93条に基づいて審査。

③トップリーグ以下の社会人選手の移籍手続

- ・トップリーグ規約第93条以下を準用して審査。

18. 規律委員会

1. 競技規則、トップリーグ表彰懲罰規程に準拠した不行跡、不規律の処置
2. シンビンの計数ならびに公開

19. 競技委員会

1. 公式戦の日程調整と決定
 - ・各地・各地域での有料試合調整
 - ・各セクションの公式大会実施
(スクール、中学、高校、大学、地区対抗、高専、社会人、学生クラブ、クラブ)
2. 公式大会の主催・主管
 - ・公式戦会場での担当理事・競技委員決定と派遣
3. 競技運営向上の為、各種マニュアル追加・修正
 - ・競技役員アンケートを実施し、競技運営・危機管理マニュアルに反映
4. 確実な競技運営と競技委員拡充
 - ・担当職務のローテーションをはかり、競技委員個々人の職務範囲を拡大
 - ・競技委員の新規登録促進を実施
5. 競技委員会活動を発展させる為に、コアメンバーによる推進チームを設定
 - <競技運営推進チーム (6名)>
 - ・競技運営スペシャリスト育成
 - ・新人OJT教育実施
 - ・危機管理チームと連携し、選手の怪我対応
 - ・救急バック整備・担架ベルト補充
 - <危機管理推進チーム (6名)>
 - ・業務用インカム導入
 - ・医務室ガイド作成
 - ・警備会社と連携し観客の怪我・病気に対応
 - ・2012年度危機管理レポート作成

20. 総務法務委員会

1. 関東協会規約その他諸規程の整備
2. 租税公課に対する対応
3. 労務管理の整備
4. 法令遵守(コンプライアンス)の推進
5. 日本協会との組織統合への対応
6. 各委員会間の調整作業
7. その他

関西ラグビーフットボール協会

1. 医務委員会

- ・委員会開催 6回
- ・日本選手権、大学選手権、全国高校大会他各地域での公式戦での活動実施

2. 総務委員会

- ・委員会開催 12回

3. レフリー委員会

- ・委員会開催 5回
- ・レフリーコーチ会議 1回
- ・研修会開催 3回
- ・B級認定講習会 3回(徳島・石川・愛知)
- ・レフリー派遣
(各リーグ戦、一宮セブンズ大会、関西クラブ大会等)

4. 強化・セレクション委員会

- ・強化・セレコン委員会 2回(9/29、2/23)
- ・三地域強化・セレコン委員長会議(3/30)
- ・強化・セレコン委員派遣(TL・リーグ戦各試合)

5. コーチ委員会

- ・トップチームコーチ会議
(7/8 ホテルクライトン新大阪)
- ・総務部会(6/18 関西協会)
- ・強化コーチ養成講習会派遣
(7/20～ 国立オリンピックセンター)
- ・育成コーチブラッシュアップ講習会
(2/3 ホテルクライトン新大阪)
- ・関西協会コーチ委員長会議
(2/3 ホテルアウイーナ大阪)

6. 普及育成委員会

(1)ジュニア部門

- ・部門会議(5回)
- ・第3回全国中学生大会関西地区予選(6/23～24)
- ・関西中学生大会(7/27～7/29)
- ・関西中学生ジャンボリー(7/27～7/29)
- ・中四国ジュニア大会(9/1～2)
- ・近畿スクールジュニア交流大会(11/24)
- ・全国ジュニア近畿ブロック予選(11/25)
- ・関西スクール新人交流大会(3/23・24)
- ・関西地区スクールジュニア指導者講習会(3/23)

(2)ミニラグビー部門

- ・部門会議(7回)
- ・関西ミニジャンボリー大会(淡路島・6/23～24)
- ・ラグビーマガジンカップ(10/13)
- ・中国ブロック交流大会

(3)タグラグビー部門

- ・部門会議 7回
- ・「関西タグラグビーフェスティバル」
琵琶湖 CUP in 長浜ドーム(5/26)
- ・岡山タグラグビー交流大会
- ・女子タグラグビー交流大会 in 西京極
- ・タグラグビー指導者養成講習会(福井・京都・奈良
など)

7. 安全対策委員会

- ・常任委員会(1/19)
- ・安全推進講習会(2/3 ホテルアウイーナ大阪)
安全対策委員長 22名、医務委員 23名、
コーチ 22名、その他 4名 総計 71名

8. 社会人委員会

- ・トップウエストリーグ
Aグループ 9/1～11/24(5チーム)
A1グループ 9/29～11/24(6チーム)
Bグループ 9/22～11/24(6チーム)

B1グループ 9/16～12/1(6チーム)

- ・トップウエストA-A1入替リーグ戦@JR西日本G
ユニチカ 43-22 三菱自動車京都(12/8)
JR西日本 25-12 三菱自動車京都(12/15)
JR西日本 46-7 ユニチカ(12/22)
- ・トップリーグチャレンジシリーズ
トップチャレンジ2(12月・神戸、広島、東京)
1位通過:三菱重工相模原ダイナボアーズ
トップチャレンジ1(1月・東京、大阪、福岡)
1位:コカ・コーラウエスト、2位:クボタスピアーズ
- ・トップリーグ入替戦
福岡サンニクス 28-34 豊田自動織機(2/3 福岡)
NTTドコモ 24-21 三菱重工相模原(2/9 大阪)

9. クラブ委員会

- ・第4回近畿リーグ
- ・第24回関西クラブ大会
- ・第3回関西クラブ委員長会議
- ・関西クラブトップリーグ
優勝 六甲ファイティングブル
- ・関西クラブトーナメント

10. 大学委員会

- ・リーグ委員会開催 2回
- ・総会(7/14、3/30)
- ・タッチジャッジ講習会(7/9)
- ・表彰式(2/16)

11. 高専委員会

- 第43回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会
(1/4～1/9 神戸)
- ・実行委員会 2回(10/4、12/12)
- ・抽選会(12/1)
- ・代表者会議(1/3)
- ・開会式(1/4)

12. 高校委員会

- ・高校委員会(4月、10月、12月)
- ・第10回関西高校少人数校ラグビー交流大会
(6/16～17 大阪体育大学)

13. 女子委員会

- ・トライアウト(7/1 神戸灘浜G)
- ・第15回関西大会(9/4～10/30 瑞穂、他)
- ・U18花園セレクション(12/3 瑞穂)
- ・交流会(11/23 江戸川G)
- ・ジャパンセブンズ(3/17 瑞穂)

14. 広報委員会

- ・TL・リーグ戦各試合への派遣とマッチレポートの作成
- ・関西協会記者懇談会への派遣

15. 傷害見舞審査委員会

- ・審査委員会の開催 11回(8月を除く)

九州ラグビーフットボール協会

1. レフリー委員会

- ・各県委員長会議:
6月大分・12月福岡・H25.2月福岡
- ・レフリー研修会・認定講習会
九州地区トップレフリー研修会(7~8月・湯布院)
九州地区B級レフリー認定講習会(8月・鹿児島)
三地域トップレフリー研修会(8月・菅平)
- ・有望レフリー発掘事業(5月・宮崎、6月・沖縄)
- ・各県巡回指導研修会(H25.1月~3月)
- ・コーチ・アセッサ研修会(未実施)
- ・レフリー評価委員会(H25.2月・福岡)
- ・各種主催・主管大会へレフリーの派遣・各県試合会場

2. 社会人委員会

- ・第50回木元杯全九州7人制大会(4月14~15日・福岡)
- ・トップキュウシュウリーグ加盟チーム代表者会議(8月・福岡)
- ・第32回九州地区国民体育大会(成年)
(8月25日~28日・沖縄)
- ・第41回トップキュウシュウリーグ(9月~11月・各地)
- ・トップリーグチャレンジ1・2(12月~H25.1月・福岡)
- ・トップキュウシュウリーグA・B入替戦(12月16日・福岡)
- ・トップ九州リーグ代表者会議(H25.2月・福岡)

3. クラブ委員会

- ・各県委員長会議(5月・大分、11月・熊本)
- ・九州惑大会(5月26日~27日・大分)
- ・第8回九州トップクラブリーグ(9月~11月・各地)
- ・第38回クラブ・実業団大会(11月17日~18日・熊本)
決勝戦(12月2日・熊本)
- ・九州トップクラブリーグ入替戦(Aリーグ12月9日・大分、
Bリーグ12月16日・福岡)

4. 大学委員会

- ・第51回九州山口医科系大学大会
(4月28日~5月5日・宮崎)
 - ・九州学生春季リーグ戦(6月・福岡他)
- ・九州学生強化・リーグ講習会(未実施)
- ・第51回九州商経大学大会(6月・大分)
- ・第62回九州地区大学大会(6月30日~7月1日・大分)
- ・第20回九州学生リーグ(9月~11月・福岡他)
- ・九州学生リーグジュニア戦(9月~10月・福岡他)
- ・第12回九州地区対抗大学大会(Ⅲ部優勝決定戦)
(11月17日~20日・沖縄)
- ・九州学生リーグ入替戦(12月8日・福岡)
- ・各県委員長会議(7月・12月・福岡)

5. 高専委員会

- ・高専チームリーグ講習会(3月30日~4月1日・八代)
- ・第21回九州高専新人大会(5月12日~13日・久留米)
- ・各県委員長会議(11月9日・大分)
- ・第49回九州高専大会(11月10日~13日・大分)

6. 高校委員会

- ・交流試合 東日本高校代表 vs 九州高校代表
(4月14日・東京)
- ・サニックスワールドユース交流大会(4月28日~5月5日・福岡)
- ・九州高体連ラグビー専門部委員長会議(6月16日・大分)
- ・第65回全九州高校大会(6月16日~19日・大分)
- ・夏季九州高校1・2年生一次強化指導会及び
U17全国高校合同チーム大会直前合宿
(7月7日~9日・湯布院)
- ・第32回九州地区国民体育大会(少年)
(8月25日~28日・沖縄)
- ・第92回全国高校選手権大会各県予選(9月~各県)
- ・第4回九州U16・U17交流会(12月15日~16日・福岡)
- ・サニックス2013ワールドユース交流大会 予選会
(H25.1月2日~5日・福岡)
- ・九州高校委員会及強化委員会(H25.2月23日・沖縄)
- ・第35回木元杯全九州高校新人大会
(H25.2月23日~27日・沖縄)
 - ・U17九州選抜候補合宿
(H25.3月16日~18日・湯布院)
- ・第14回九州高校10人制大会
(H25.3月23日~24日・長崎)
- ・その他強化合宿(夏・春)・指導会・各県委員長会議

7. コーチ委員会

- ・各県委員長会議(12月8日・福岡)
- ・九州協会トップコーチ会議
兼強化コーチブラッシュアップ研修会(12月・福岡)
- ・育成コーチ養成講習会(11月・鹿児島)
- ・ブラッシュアップ講習会(4県で開催)
- ・新スタートコーチ養成講習会(4県で開催)
- ・その他コーチ委員会として必要な事業(随時実施)

8. 中学生委員会

- ・各県委員長会議(4月・8月・10月)
- ・ジュニアインストラクター会議(10月6日~8日・熊本)
- ・ジュニアラグビー指導者講習会(随時実施)
- ・第25回新島旗九州中学校ラグビー大会
(8月1日~3日・大分鯛生)
- ・第34回新島杯九州ジュニアラグビー大会
(8月3日~5日・大分鯛生)
- ・第13回九州ジュニアブロック大会(10月6日~8日・熊本)
- ・第14回九州ジュニアラグビージャンボリー大会
福岡ジャンボリー(H25.1月19日~20日)
長崎(島原)ジャンボリー(H25.2月23日~24日)

9. 普及委員会

- ・普及育成担当者研修会委員会(5月・福岡)
- ・タグフェスタIN
佐賀(6月)・鹿児島(10月)・大分(10月)・沖縄(10月)
長崎(3月)・熊本(7月)・宮崎(2月)・福岡(10月)
- ・タグ指導者講習会
福岡(8月)・長崎(2月)・熊本(8月)・沖縄(8月)
大分(8月)・鹿児島(8月)・佐賀(8月)・宮崎(8月)
- ・第39回九州少年ラグビー交歓会(8月24日～26日・阿蘇)
- ・ミニ・ラグビー交流大会
第13回西九州交流大会(9月9日・福岡)
第13回東九州交流大会(11月4日・大分)
第12回南九州交流大会(12月16日・鹿児島)
第5回沖縄県交流大会(11月25日・沖縄)
- ・ミニ・ラグビー指導者講習会
福岡(5月)・大分(7月)・
宮崎(7月)・佐賀(9月)
- ・第7回九州女子タグラグビー大会(11月・福岡)
- ・第9回サントリーカップ全国大会予選
大分(12月)・佐賀(11月)・長崎(11月)・熊本(11月)
鹿児島(12月)・福岡(12月)・宮崎(11月)
沖縄(H24.1月)
沖縄ブロック大会(1月12・13日・沖縄)
九州ブロック大会(2月2日・佐賀)
- ・TRI+TRR研修会(6月23・24日・福岡)
- ・MRI+RS指導者講習会(3月23・24日・阿蘇)
- ・九州MRR認定講習会(8月24～26日・阿蘇)

10. 安全対策委員会

- ・安全推進講習会(4月～5月・各県)
- ・九州協会主催安全推進講習会(5月20日・福岡)
- ・安全推進講習会伝達(1月・福岡)
- ・九州安全対策委員長会議(3月2日・福岡)
- ・九州メディカル・安全対策委員会合同総会(同上)
- ・第27回九州地区高専リーダー講習会での研修
(3月30日・熊本)

11. 強化・セレコン委員会

- ・トップキュウシュウリーグ A、九州学生リーグ視察(9～12月)
- ・強化・セレコン委員会(九州代表セレクト会議
(1月・福岡))

12. 総務委員会

- ・会員名簿の作成(8月)
- ・主要スケジュール・メンバー表の作成・配布(随時)
- ・九州及び各県主催公式試合の編成・発行(10月)
- ・各新聞における関係記事のスクラップ(随時)

13. 広報委員会

- ・日本協会機関誌「協会だより」への投稿(年5回)
- ・九州協会ホームページの更新(都度更新)
- ・各県広報委員長会議(9月1日・福岡)

- ・トップリーグ共同記者会見の開催(8月29日・福岡)
- ・各メディア(新聞・TV)との意見交換会(11月13日・福岡)
- ・各メディアへの情報発信、情報交換(随時)
- ・各県公報委員の福岡派遣(トップリーグ開催時)

14. メディカル委員会

- ・公式戦へのマッチクーター派遣 1,500 試合(4月～3月)
- ・トップリーグ・メディカルコントロール 12 試合(各地)
- ・日本代表チーム帯同医師派遣協力
女子日本代表中国遠征 釘宮氏
U20 日本代表ウェールズ・アメリカ遠征 五反田氏
- ・第1回総務委員会開催(9月2日・福岡)
- ・安全対策委員会と合同総会及び第2回総務委員会開催
(同上)

15. 女子委員会

- ・木元杯九州セブンズエキシビジョンマッチ開催
(4月15日・福岡)
- ・女子委員会開催(4月21日・福岡)
- ・九州女子トライアウト開催(4月22日・福岡)
- ・KOBELCO CUP高校生大会(8月1日～3日・菅平)
- ・九州ユース(U15)草津キャンプ(8月5～8日・群馬)
- ・全国中学生大会参加(9月15日～17日・水戸)
- ・女子委員会開催(11月10日・大分)
- ・第2回九州ガールズラグビーフェスタ開催
(11月11日・大分)
- ・全国女子交流大会(江戸川)参加(11月23日・東京)
- ・花園女子セブンズ参加(12月27日・花園)
- ・対関東代表戦(12月2日・熊本)
- ・対関西代表戦(12月23日・静岡)

15. 個人登録制度(傷害見舞金共済運営事業)

()内は前年増減

<登録>

- ・登録人数 16,577 人(-484 人)
団体別ではスクール、高専以外は減少
全県で減少
- ・登録チーム数 478 チーム(-22 チーム)
団体別では女子+1、スクール・高専現状維持なるも
その他は減少
- ・登録料 5,550.5 千円(-161.5 千円)

<傷害見舞金>

- ・査定委員会は毎月実施

以上